

FFG調査月報

MONTHLY REPORT

2/3

2022.FEB・MAR
VOL.144

Top Interview

医療法人 柳育会 理事長 柳 克司 氏

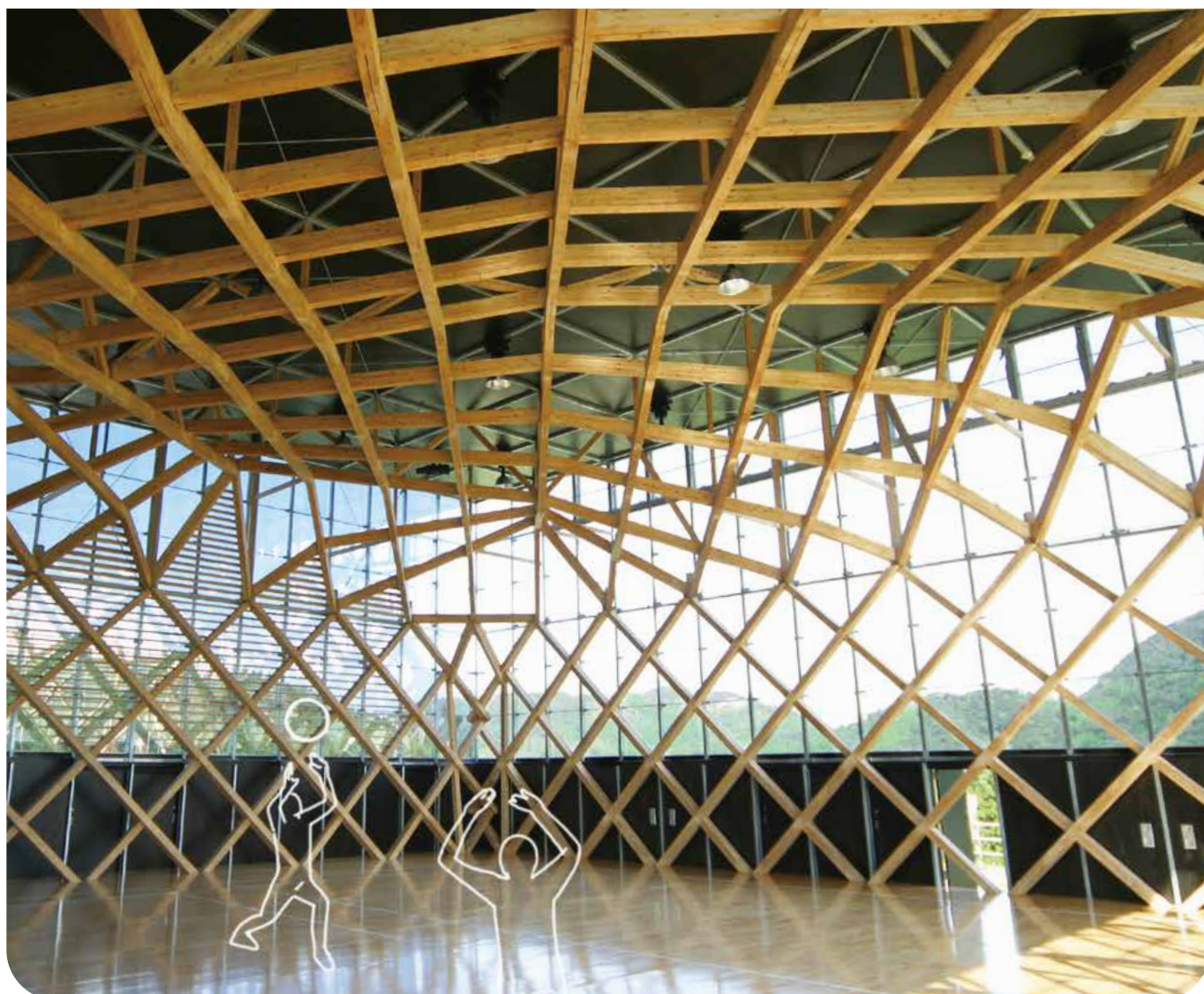
雄健工業 株式会社 代表取締役 出井 健太郎 氏

有限会社 橋口水産 代表取締役 橋口 直正 氏

 福岡銀行

 熊本銀行

 十八親和銀行



福岡の不動産売却・有効活用は 私たちへお任せください。

西鉄不動産 法人営業課

取引実績

10,476件

(2007～2020年度)

※一般物件を含む

遊休不動産の売却・有効活用、事業用地の取得、その他の保有不動産の売却・査定など、
様々な不動産に関する課題解決や不動産の価値を最大化する
トータルソリューションを提供しています。

事業用地



- 土地
- 事業用全般の土地
- 分譲マンション・戸建用地
- 賃貸マンション用地

事業用物件



- 店舗
- 寮
- 工場
- 商業モール
- 事務所
- ホテル
- 物流倉庫

収益物件



- 1棟収益アパート
- 1棟収益ビル(事務所・店舗)
- 1棟収益マンション
- コインパーキング

法人不動産の専門部署、法人営業課へお任せください。

西鉄不動産株式会社

[法人営業課] 天神店

フリー
ダイヤル

0120-090-137

営業時間／10:00～17:00 定休日／土曜・日曜・祝日
福岡市中央区今泉1丁目12番23号(西鉄今泉ビル5F)

[法人営業課] 博多店

フリー
ダイヤル

0120-646-818

営業時間／10:00～17:00 定休日／土曜・日曜・祝日
福岡市博多区博多駅東2丁目16番19号(OAK博多ビル1F)





2022年度 新入社員研修会のご案内

ぶくおかフィナンシャルグループでは、新入社員・新規採用者の方々を対象に、社会人としての基本姿勢やビジネスマナーを習得いただく研修会を開催いたします。

ベテラン講師陣がわかりやすく指導いたしますので、貴社の社員教育の一環として是非ご活用ください。

研修内容

- ① 社会人としての基本的な心構え
- ② 仕事の上手な進め方
- ③ 会話・言葉づかいのマナー
- ④ 信頼される電話対応
- ⑤ 好感を与える接遇の基本

時間 10:00～17:00

対象者 2022年度の新規・中途採用者

受講料 FFG経営者クラブ会員／1企業5人まで **無料**
6人目よりお1人様3,000円、会員以外／1人様6,000円

※請求書は後日送付いたします。

定員 各クラス45名

主催 福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行・
FFG経営者クラブ・FFGビジネスコンサルティング

2022年秋頃に新入社員フォローアップ研修会を予定しております。

※全日程、全クラス同じ内容の研修会です。ご都合の良い1日を受講してください。

委託先	開催日	クラス数	配信方法
日本経営協会	4月1日(金)	1クラス	Zoom ※受講者お1人様につきパソコン又はタブレット1台をご用意ください。1台の画面で複数人が受講することはできません。
	4月4日(月)・5日(火)・6日(水)・7日(木)・8日(金)	5クラス同時配信	
ビジネスリファイン	4月11日(月)・12日(火)・13日(水)	2クラス同時配信	

申込締切：各開催日の5営業日前の17:00まで

欠席される場合は開催日の3営業日前までにご連絡ください。

お申込み方法

下記のホームページにアクセスの上、「商談会・セミナー情報」よりお申込みください。

FFGビジネスコンサルティングホームページ

<https://www.ffgbc.com/>



お申込み後の流れ

- ① 研修会開催の2営業日前までに、お申込ご担当者様に「ご案内メール(受講に必要なテキスト等、Zoom招待URL)」をお送りします。
- ② ご案内メールが届きましたら、受講者様に「ご展開いただきますようお願いいたします。」
- ③ 受講者様は、お手元にプリントアウトしたテキストと筆記用具をご準備のうえ、当日はご案内されたZoomへ入室してください。

本研修に関する運営事務は、一般社団法人日本経営協会および株式会社ビジネスリファインに委託しております。申込内容について同社から照会がある場合もございますのでご了承ください。

お問合せ先

〈申込・変更・取消などに関するお問合せ〉

開催日：4月1日(金)～8日(金)

TEL 092-431-3365 (一般社団法人 日本経営協会)

受付時間 9:15～17:00(但し、土日祝日は除く)

開催日：4月11日(月)～13日(水)

TEL 092-734-1030 (株式会社 ビジネスリファイン)

受付時間 9:00～17:00(但し、土日祝日は除く)

株式会社FFGビジネスコンサルティング内

FFG経営者クラブ事務局

TEL 092-723-2241

〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1

受付時間 9:00～17:00(但し、銀行休業日は除く)

担当：岩谷、田中

懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

谷間に響く 唐臼の音



▲皿山の風景



▲上.唐臼／下.陶土を窯で乾燥

●小鹿田焼陶芸館

バーナード・リーチの作品が
展示されている

住所：
大分県日田市
源栄町138-1



「ギィー…ドン！」小川の水を利用して陶土を挽く唐臼の音が、小鹿田焼の里にこだまする。四方を山に囲まれた山里で小鹿田焼の技法が300年以上の間、一子相伝で受け継がれたことは驚嘆に値する。

もともとは日田領民の日用の食器として生産されていたが、昭和6年に民芸運動を提唱した柳宗悦が驚きをもって全国に紹介、昭和29年には英国の陶芸家バーナード・リーチがこの地に3週間滞在したことで海外にも知れわたる。

しかし、その後も変わることなく唐臼のリズムのようにゆつくりと、この地は時を刻んできた。そのお陰で私たちは、今ではなかなか見られなくなった古き日本の風景を目の当たりに出来る。大浦川沿いに建つ9軒の窯元を巡っているうちに、のどかな空気にすっかり癒される。

(文・阿井川 圭)

CONTENTS



2 懐かしい情景を探して 谷間に響く唐臼の音

Top Interview

- 4  福岡銀行
医療法人 柳育会 理事長 柳 克司 氏
- 10  熊本銀行
雄健工業 株式会社 代表取締役 出井 健太郎 氏
- 16  十八親和銀行
有限会社 橋口水産 代表取締役 橋口 直正 氏

- 26 地域とつながるFFG連携プロジェクト
福岡県 糸島市 / 福岡県 嘉麻市
熊本県 水俣市・芦北町

- 32 地域と共生するFFG
天草パールガーデン&海中水族館シードーナツ
リニューアルオープン!

- 40 経営者の課題解決の処方箋
「雇用」ではない新しい人材活用
「プロシエリング」が注目される理由と
うまくプロ人材を活用するポイントとは

- 44 FFG BMS
かくやフーズ 株式会社
株式会社 アローゼ・エルソワ化粧品
株式会社 橘高

- 46 大連駐在員報告
中国のコンビニエンスストアの動向

- 48 SDGsを考える、行動する
「父親であることを楽しむ」
新しい価値観が社会を変える

- 52 GOLF MEGA STAR
アマチュアゴルファー 下園 航太 氏

- 54 釣り道 キセキの釣り場。九州編

- 56 九州の星 琵琶製作・修復職人
ドリアーノ スリス

- 58 長崎だより
デザインの視点が町に生かされる時
～雲仙市小浜町での活動を中心に～

バックナンバー
のお知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。



表紙写真提供：熊本県くまもとアートポリス事務局

今月の表紙 美里町林業総合センター(熊本県美里町)

表紙の写真は、町内の集会や軽スポーツに利用されている「熊本県美里町林業総合センター」です。木材とスチールのみを使用し、空間を不定形に組んだ木材ですっぽりと覆い、全体をガラスで囲った特徴的な構造です。

豊かな自然や歴史、風土を生かしながら、後世に残る文化的資産として優れた建築物を造ることを目的とした「くまもとアートポリス」プロジェクトにおいて建築されました。林業で栄えてきた町として地元木材を使用し、町のシンボルとなる建築物となっています。



 福岡銀行

先進治療と在宅医療を柱に、
地域に貢献し続ける。

医療法人柳育会
りゅういくかい

理事長
りやなぎ
柳克司氏
かつじ

取引店／福岡銀行 八女支店

■法人概要

創業:1970年／創立:1990年／所在地:福岡県八女市／従業員:約800名／診療科目:外科、消化器外科、消化器内科、脳神経内科、泌尿器科、整形外科、呼吸器外科、循環器内科、放射線科、リハビリテーション科／関連施設・事業所:柳病院、八女リハビリ病院、グリーンビュー希望ヶ丘、メディカルフィットネスイースト、新やなぎ健診クリニック、八女ケア相談センター、柳育会訪問看護ステーション、ハローケア訪問看護ステーション、デイサービスセンター長峰の丘、軽費老人ホーム鐘の鳴る丘

ホームページは
こちらからどうぞ！





「柳病院」前。左から柳東次郎院長(八女リハビリ病院)、
柳克司理事長(医療法人 柳育会)、柴戸頭取

◇三叉路病院◇と評判に 個人病院から地域密着の医療機関に

わたしたち医療法人柳育会のルーツである柳病院は1970年、福岡県八女市に26床の個人病院として誕生しました。創業者である父・柳東^{やなぎあずま}は、医師とは縁もゆかりもない家で育ちましたが、久留米大学附設高等学校の卒業後、久留米大学医学部に進学すると同第二外科に入局しました。その後に個人病院を開業する際に、出身の福岡県小郡市から久留米市、さらに南へと開業地を探していたところ、八女市内の国道3号線沿いの三叉路のすぐ横、近隣からのアクセスが良いこの地を見つけ、「ここなら三叉路病院と呼ばれてきつと病院は発展できる」と信じ、ここ八女市吉田の地を選んだと聞いています。

開業後は地域に密着した医療活動を実践し、1990年、見晴らしの良い高台の地にこの地域のリハビリテーション医療の先駆けとなる「八女リハビリ病院」を開業するとともに、医療法人柳育会を設立しました。おかげさまで、2020年には開業50周年を迎えましたが、

現在は135床をもつ「柳病院」を中心に、190床の「八女リハビリ病院」、介護老人保健施設「グリーンビュー希望ヶ丘」、疾病予防運動施設「メディカルフィットネスイースト」、健診専門施設「新やなぎ健診クリニック」、訪問看護・訪問介護などの「新やなぎ在宅支援センター」、さらには関連事業としてデイサービスセンターやケアハウスなどを有し、急性期から回復期までの総合的な医療提供を行っています。八女市のみならず、隣接する筑後市、広川町、みやま市、さらには久留米市や佐賀県鳥栖市などからも、患者さんが見えなくなっています。

その大きな要因としては、専門性の高い医療と、地域に密着した医療を職員一丸となって提供していることにあります。特に、高齢者が多いこの地において、在宅医療には力を入れています。二つの病院の病床数は合わせて325床ありますが、在宅の患者さんは約600人。私たちとしては計約900床規模の病院のイメージで医療を展開しています。在宅医療の対応は、半径5km以内を基本としています。末期のがん患者さんの場合には、ご家族の協力



5



3



1



6



4



2



柳司理事長

のもと自宅に戻りたいという要望があれば、もっと遠方であっても対応しています。

大学病院から地域医療へ

臨床の現場に立ち続ける

私は、愛知県の藤田保健衛生大学（現・藤田医科大学）を卒業後、同大学で研修医として勤務した後、地元に戻り、久留米大学医学部外科学教室に入局しました。入局後すぐに久留米市にある聖マリア病院に出向し、救急医療の技術を学びました。

大学に戻ってからは肝胆膵領域の診断治療を行う研究室に在籍。久留米大学病院消化器

病センターでは、消化器内科と消化器外科が協力してさまざまな症例に取り組んでおり、外科である私もここで、本来は内科で扱うような内視鏡を用いた診断・治療を経験しました。私の大学時代の恩師は、「外科医とはメスを持った内科医だ」と常に私に語っていました。私もこの頃の経験から、そのことを実感し、「外科は縁の下の力持ちであり、内科と一体になって治療に当たっていくべき」という考えを、今でもしっかりと胸に刻んでいます。

久留米大学を離れ、柳病院に着任したのは36歳の時。それまで、最先端の医療や最新の機器に触れて医療を行っていたところから、いきなり地域医療の世界に入ってきたわけですから、最初は私自身、職員ともに多くの戸惑いがありました。先代からは、「患者さんはもちろんだが、職員やその家族のことを大切にしないさい」とよく聞かされました。

柳病院は外科と内科の医師の協体制がしっかりとっており、職員も病院のこと、患者さんのことを思う気持ちがとても強いと感じています。私も地域医療に少しでも貢献できるように、理事長に就任した今でも深夜の在宅診療



1.対談風景／2.超音波内視鏡／3.柳病院1階ロビー／4.柳病院を見学／5.メディカルフィットネス／6.メディカルフィットネスを見学／7.八女リハビリ病院とグリーンビュー希望丘を上空から／8.八女リハビリ病院内訓練室／9.巡回検診車／10.ケアハウス鐘の鳴る丘／11.メッセージ



新やなぎ 在宅支援センター



「新やなぎ在宅支援センター」前。前列左から柳俊光統括部長(医療法人 柳育会)、柳東次郎院長(八女リハビリ病院)、柳由紀子理事(医療法人 柳育会)、柳克司理事長(医療法人 柳育会)、柳徳枝特別相談役(医療法人 柳育会)、柴戸頭取、矢野支店長(福岡銀行)

には自ら出向き、外来にも出ています。「どのような立場になっても臨床を続けなさい」と言ってくれた恩師の言葉を胸に刻み、職員とともに、最前線で頑張りたいと思っています。

最先端の機器でがんを診断 得意分野を地域にアピール

地域医療への貢献と同時に、この地域では数少ない胆道、膵臓がんの治療に力を入れています。柳病院は、県内でも数少ない「日本胆道学会認定指導医制度」指導施設、「日本膵臓学会」指導施設などの認定を受けています。この専門医の指導施設に認定されるためには、大学病院に並ぶ医療機器の導入が必要となります。柳病院には、膵臓や胆道のがんを調べるのに大変有効なEUS(超音波内視鏡検査)をはじめ、高画質な画像診断を可能にする最新型1.5T MRI、64マルチスライスCTを導入しています。特に膵臓がんは、今なお生存率には厳しいものがありますが、それを確実に診断するための検査ができるとあって、県外から来られる患者さんも増えています。

ただし、こうした最新医療設備の充実も認知度が至らず、地域の方々から見ると「個人病院であっても先進治療が受けられる」というイメージがありません。柳病院にできることを、しっかりとアピールすると同時に、私たちが地域に何を還元できるかを、もって考えていかなければと感じています。

コロナ禍を乗り越え 外来や在宅医療の拡充を

新型コロナウイルス感染症において、柳病院では外来の時間を区切ってワクチン接種に積極的に対応してきました。がんの患者さんが多く、一般の診療を止めることができないことから、コロナに感染した患者さんの受け入れをすることはできなかったのですが、それでも職員にはさまざまな規制を強いることとなり、大変申し訳なく思っています。職員もクラスターを出さないよう細心の注意を払ってくれており、柳病院がここまで大きくなれた強みの一つは、こういった職員の頑張りにあると、あらためて実感しました。

現在は、母・徳枝^{とくえ}が特別相談役となり、長男である私が理事長、妻が保健師として訪問看護ステーションの責任者、次男が「八女リハビリ病院」の院長、三男が本部の統括部長、四男がケアハウス「鐘の鳴る丘」の施設長を務め、熱意ある職員たちとともに、この病院運営に取り組んでいます。ところで徳枝の曾祖母の兄には旧福岡藩御用商の佐野彌平^{さのやへい}がいます。佐野彌平は1877年に現在の福岡銀行の前身である第十七国立銀行が創立された際、黒田家に次ぐ大株主であり、初代頭取という重責を担いました。そういった誇らしいルーツをもつ私たちはその名に恥じぬようしっかりと地域医療に貢献していかなければなりません。八女市は高齢化率も高く、人口も減少してきていますが、隣の筑後市などは若い世代の人口が増えています。柳病院の外来の患者さんも増えてきています。まさに、創業時に近隣からのアクセスが良い国道沿いのこの地を選んだことが、発展につながっているのではないのでしょうか。開業当初からの「地域医療への貢献」という精神はぶれることなく、今後はさらに外来や在宅医療の拡充も目指していきたいと思っています。

■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 柴戸 隆成



26床での開業から、現在は柳病院・八女リハビリ病院を合わせ計325床もの病床まで拡大され、医療から介護福祉、健診・予防などの分野にも積極的に展開を続けてこられました。

近年、高齢化が進んでいる影響もあり、今後も在宅医療のニーズはさらに高まるとともに、若い世代の検診率も上昇していることで、来院患者様の増加が予想されます。先進治療と在宅医療を柱に、ますます地域医療に貢献されることを期待しています。



 熊本銀行

自走式立体駐車場を全国に展開。
鉄を通じて良い製品を届けたい。

雄健工業株式会社

代表取締役
出井 健太郎 氏

取引店／熊本銀行 玉名支店

■会社概要

創業:1977年／所在地:熊本県玉名郡長洲町／
資本金:1億円／事業内容:自走式立体駐車場の
設計・製作・施工・販売／事業拠点:(本社工場)
熊本県玉名郡長洲町(営業本部)東京(事業所)
札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・福岡・
沖縄／関連会社:YK熊本株式会社、株式会社
YKP建築設計コンサルタント、YKメンテナンス
株式会社

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





本社工場前(左から出井社長、野村頭取)

金属加工から駐車場事業へ 一貫して鉄と向き合う

当社は、私の父・出井次雄^{つぎお}が、1977年に設立した鉄工所「有限会社出井工業」が起源です。本社のあるここ熊本県長洲町は、有明海に面し、長崎県島原とを結ぶフェリーのターミナルがあつて、造船業をはじめとした製造業が昔から盛んなところです。そのため、腕のいい鉄加工の職人が集まっていたことが、ここで創業するきっかけになったそうです。

この地で小さなプレハブの鉄工場から始め、一貫して鉄と向き合いながら一般金属加工、一般鉄骨製作を中心に事業を展開してまいりました。1984年には、父の名前の「雄」と、長男である私の名前の「健」を取って、社名を現在の「雄健工業株式会社」に変更し、1988年からは今の当社の主力製品となる自走式立体駐車場の製作事業に乗り出しました。

現在では、全国でも数少ない自社工場での製造による自走式立体駐車場の専門メーカーとして、北海道から沖縄まで日本全国をカバーするまでに至っています。年間の施工棟数

は平均して24〜25棟ほどで、以前は集合住宅用、遊技場用が多かったのですが、今では工場や病院、公共施設の駐車場が主流になっています。最近の大規模な事業としては、コンベンションホールやホテルなどを有する長崎市の新しい交流拠点施設「出島メッセ長崎」や、東京都の「豊洲市場」の自走式立体駐車場を手掛けています。

認可を受けた自走式立体駐車場の 専門メーカーの強みを生かす

自走式立体駐車場事業をスタートさせた当初は、1層2段の駐車場から始めましたが、時代とともに駐車場の階層が増える、さらに高い製造技術が求められるようになってきました。自走式立体駐車場は、連続傾床など特殊な形状をしている駐車場が多いため、駐車場製作に慣れている工場で鉄骨製作をすることが、非常に重要になってきます。そのため当社では、設計から図面作成、工場加工、工事までを一貫してできる体制を整えました。こうして初めてメーカーとして、クライアントの



5



3



1



6



4



2



出井社長

あらゆるニーズに応える自走式立体駐車場を提供できると考え、今に至っています。

さらに、自走式立体駐車場は地形や条件に合わせて建てなければならず、設計段階での打ち合わせが重要になります。そこで当社では、全国の各事業所に、設計スタッフを配置し、営業スタッフと一緒にお客様のところに直接出向いて、その場で打ち合わせを行います。お客様のニーズに合った提案がすぐにできることが、当社の大きな強みになっています。

最近、特にニーズが増えているのが店舗と一体になった駐車場です。コストが抑えられるため、非常に需要が伸びています。ただし店舗の部分と駐車場の部分では、柱の数などの構造がまったく異なり、さらに1,000台も収容するような施設になると、専門メーカーとしての技術や実績がなければ対応できません。今後也是我们の主力事業として、店舗付駐車場のさらなる普及に努めていきたいと考えています。

多雪地域の駐車場も、通常の設計とは異なります。雪が多い地域の駐車場は、雪の重さ（積雪荷重）やヒーティング設備、防雪ネットなどが必要になってきます。さらには、雪を溶かす塩化カルシウムがタイヤに絡んで鉄筋を錆びさせてしまったり、氷柱対策が必要だったりなど、トラブルが何かと多いのも特徴です。このような特殊な条件においても、専門メーカーとして長年培ってきたノウハウのもと、ご提案させていただきます。

1992年には、国土交通大臣指定鉄骨製作工場の性能評価において「Mグレード工場認定」を取得し、2009年には駐車場製造



11 9



7



8



10



1.対談風景／2.3.4.5.6.工場見学風景／7.施工例:地下3階地上2階建て駐車場／8.施工例:6層6段個別認定店舗付駐車場／9.多雪地域では降雪センサー、地温センサー、外気温センサーの組み合わせで感知し雪を融かす／10.駐車場施工実績:出島メッセ長崎／11.企業メッセージ



最前列左2人目から出井社長、野村頭取、東支店長（熊本銀行）

としてはトップレベルの「Hグレード工場認定」を取得しました。さらに、国の厳しい基準をクリアした国土交通大臣認定品であることから、「延焼ラインによる防火設備設置の緩和」「耐火被覆が不要」「防火区画が不要」といった防火設備の緩和などにより、確実な低コストを実現しています。特に店舗付駐車場においては、当社の豊富な経験に基づいた構造の合理化により、一般建築よりも大幅なコストダウンが可能となっています。

「できない」を言わない 確かな提案力を強みに

私自身は慶應義塾大学を卒業後、経営コンサルティングやITベンチャー企業を経験し、その後、当社に入社しました。前職で様々な企業の経営を第三者として見てきたつもりですが、実際に経営するとなると、そう簡単ではないことを実感しています。

経営者としては、当社のモットーである「できないと言わない。どうしたらできるか」を大切にしています。例えば、当社の営業スタッフは

皆、設計のことをよく理解しています。お客様からご要望を承った際に、たとえその場に設計スタッフがいないくてもすぐに設計プランをご提案できるように教育を徹底しています。一方で、設計スタッフにも、営業に同行するだけでなく、自分一人でもお客様のものと出向いてご相談に応じられるよう、しっかりと教育を行っています。

「できない」と言うことは簡単です。しかし、それを言わずに、何か近いものが提案できないだろうか、自分たちであればそれがきつとできると信じています。また、お客様からのご要望に対して、社員全員で議論し、答えを導き出していけるような社風も大切にしています。

景気に左右されず 確実に成長を続けていく

建設業界は景気に左右されがちと言われますが、この駐車場事業においては、それほど影響を受けることはありません。たしかに、2020年春は新型コロナウイルス感染症の

拡大で、一時的に作業そのものがストップになったことはありましたが、工事のほとんどが屋外での作業ということもあり、すぐに工事は再開されました。最近では資材価格の高騰といった問題はあるものの、駐車場事業は常に2〜3年先の建設に向けて準備を進める、一歩先を見据えた事業です。そのため業績は非常に安定していると思います。

工場においては、溶接ロボットをすでに導入していますが、今後は組み立てロボットの導入も検討しています。人材不足の解消はもちろんのこと、例えば夜中にロボットによる作業が可能となれば、さらなる業務の効率化につながるのではないかと考えています。

これからも自走式立体駐車場メーカーとして、九州有数のファブリーケーター（製造・加工業者）として、鉄に強いこだわりを持ち、現状に満足することなく創意工夫を重ねていきたいと思っています。さらには、これまでの発想を打ち破るような新しい商品開発・改良、技術向上、生産能力向上に、従業員一丸となって、日々取り組んでまいります。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 野村 俊巳

熊本県長洲町で創業されて以降、これまで44年の歳月で全国に拠点を持つ自走式立体駐車場のリーディングカンパニーにまで発展されました。鉄骨工場としてHグレードの評価認定も受けておられ、ゼネコンからの信頼も厚く、一般の高層建造物にも対応できるなか自走式立体駐車場に主軸を置き、九州以外の地域でも数多くの設置実績を誇っておられます。

長洲町は造船業をはじめ多くの製造工場が進出されています。これからも長洲町に本社を構える企業をリードされ、長洲町の発展に寄与していただくことを期待しています。





トップに聞く!

十八親和銀行

五島列島の恵まれた海で
養殖魚の可能性を追求し、
極上の旨みと甘みを実現。

有限会社 橋口水産

はしぐち すいさん

代表取締役
橋口 直正 氏

はしぐち

なおまさ

取引店／十八親和銀行 福江支店

■会社概要

創業:1963年／所在地:長崎県南松浦郡新上五島町／資本金:800万円／従業員:38名／
事業内容:ブリ・ヒラマサ・マグロの養殖、鮮魚加工
および二次加工製品の製造／事業拠点:(本社)
長崎県南松浦郡新上五島町(水産加工場)長崎市

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





長崎市の水産加工場前にて(左から橋口社長、森頭取)

養殖に適した海域で 養鶏業から転身して創業

当社の歴史は1963年に私の父・兼助^{かねすけ}が五島の沿岸で水産養殖を始めたところからはじまります。五島列島にある若松瀬戸の島々には、南太平洋から日本海を北上してくる黒潮が流れ込み、潮の流れは速いものの、波は比較的穏やかで、赤潮の心配がほぼありません。養殖場の周囲の海水温は一年を通じて13℃以下になることがなく、夏場でも29℃を超えることはありません。条件的には、回遊魚ブリの養殖に打ってつけの好環境といえます。

創業当時は、県が水産養殖へ力を入れ始めた時期で、新しいことへの挑戦を考えていた父が参入を決めたと聞いています。それまで養鶏場を営んでいた父は生物の飼育に関する経験はあったものの、魚の養殖に関する知識は乏しく、当初は、生産の歩留まりが悪く苦勞の連続だったようです。それでも、県の水産試験場との連携を通じて地道な努力を重ね、徐々に生産量を増やしてきました。

また、養殖を行う魚種についても試行錯誤の経緯があり、採算・品質を検討した結果、現在はブリ、マグロ、ヒラマサの3種のみを取り

扱っておりますが、トラフグ、マダイ、イシダイを始め、あらゆる魚を養殖場に入れて水族館のような状態だった時期もありました。

東京の大学で水産関係の学びを修めて帰郷した私が、養殖事業を手伝うようになって7年ほど経った1993年、父が他界し、私が経営を引き継ぐことに。業務に関しては一通りの知識を得ていたものの、経営に関してはほぼ素人でしたから、組織の代表としての私の第一歩は試練に満ちたものでした。

独自性を打ち出すために 9年かけて餌を開発

日本の高度経済成長期は、モノは生産すれば飛ぶように売れる時代で、当社でも、とにかく餌を大量に与えて魚を大きくして、数も増やす生育法を取り入れていました。しかし、時代が変わって全体的な消費が落ち着きを見せると、途端に生産過剰状態に陥り、売り値が下落。厳しい時代を迎えることとなりました。

生き残りをかけるべく、まず着手したのは、生産原価のコスト管理と生産の歩留まりを向上させる取り組みでした。とくに、生産歩



5



3 1



6



4 2





橋口社長

留まりに関しては、魚の大量死を招く病原菌に対するワクチンが開発されたのが、大きな前進につながりました。

また、他県でも水産養殖の技術が向上していたので、当社としては独自性を打ち出す取り組みにも力を注がねばなりませんでした。そこで、私が経営者になって掲げたのが「手作り養殖」。日々魚と対話するようにして一尾一尾を大切に育てる、手作り感のある養殖法です。いわば手間暇を惜しまない、だれにも真似のできないやり方を作り上げるのに、来る日も来る日も心血を注ぎました。

例えば、餌は一般的な固形飼料をやめて生の餌を使用。素人でも取り扱いやすい固形

飼料に比べて手間は3倍も4倍もかかりますが、魚の形や色合い、大きさなど、質を向上させられます。餌の独自開発には9年の歳月を要しました。具体的には、五島近海でとれる新鮮な生餌をベースにしつつ、養殖魚を太らせるのに不可欠とされた魚油をカットして大豆やトウモロコシなどの穀物や酵素分解物を主成分にした高機能サプリメントで育成しています。

独特の旨みと甘み、 品質の高さで注目を集める

年月を費やして「手作り養殖」の技術に磨きをかけてきた結果、ある意味で「天然をはるかに超えるブリ」を作るのに成功したと考えています。当社のブリは「深い旨みと甘さがある」のが特色ですが、これは自社開発の餌と五島の海域によって良質の脂を豊富に蓄えた肉質を実現したからであり、それは第三者機関による分析結果にも表れています。

私たちの健康や美容に有用な働きをするDHAとEPAは、近年の健康ブームに乗って注目されており、DHAは乳幼児の脳や神経



11 9



7



8



10

1.上五島の養殖場／2.養殖場まで船で移動／3.養殖場を見学／4.冷凍倉庫／5.6.7.ブリ・ヒラマサを試食／8.ブリ寿司。栄養価が高く、きれいな赤身／9.10.長崎市にある加工施設を見学／11.企業メッセージ



前列左3人目から橋口社長、森頭取、森田支店長(十八親和銀行)

の発達に必要な成分、EPAは血液や血管の健康維持に重要な成分とされています。しかしながら、ともに人体ではほとんど作り出すことができません。当社で育成したブリの場合、DHAとEPAは天然ブリの約2倍で、天然マグロの約38倍も含まれています。味だけでなく成分の面からも競争力のある商品を作り出した結果、数々の品評会で優秀賞をいただき、当社のブリのブランド価値を高めることとなりました。

その一方で当社では、ブリの出荷時期の課題にも挑戦してきました。ほとんどの天然魚は産卵後の6か月で旬を迎え、おいしい時期が2か月で終了してしまいます。良質の脂質をのせた旬の時期を延ばすための研究努力を積み重ねて、いわゆる「寒ブリ」のおいしさを8月から提供できる養殖技術を実現しました。

自社施設で鮮魚加工を施し 即日出荷できる生産体制を確立

養殖魚の生産という事業だけでは、市場や加工業者など外的要因に影響を受けやすく、安定した事業運営を維持するのが困難である

と気づいたのが、鮮魚加工に着手するきっかけでした。

近年、農林水産省が推進する「6次産業化」の動向もあつて、鮮魚加工を事業の柱に加え、2017年に自社加工施設を造つたものの、運営が軌道に乗るまでは苦難の日々。工場経験者が工場長に就いてくれたのが救いでしたが、人材募集をかけて集まった加工スタッフはほとんどが未経験者だったため、ほぼ1年間は手探り状態での操業が続きました。しかし、試行錯誤を重ね続け、加工技術は着実に向上。現在では、注文が入った段階で必要量だけ漁を行い、水揚げした魚をその場で生き締めして加工施設へ直送し、スムーズに加工を施すことで、高い鮮度を保つた商品製造を実現できています。

また、養殖魚の過剰生産で価格下落を経験した際、そのリスク回避策として当社が目をつけたのが海外における販路開拓で、自社加工施設はHACCPを取得し、アメリカ、中国、EU等の海外向け輸出取引に必要な施設登録を完了しています。徹底した衛生管理のもと、お客様のニーズに合わせた加工を施して、その日のうちに出荷を行える生産体制は、当社の強みのひとつとなっています。

国内外でより求められる 商品の開発に注力したい

2018年には、アメリカボストンで開催された世界最大規模のシーフードショーや、中国チンタオのシーフードショーに出展し、当社の養殖ブリは海外で高い評価を受けました。その結果、海外のミシラン星獲得店などでも食材として採用していただけるようになっていきます。国内では、豊洲、大阪、長崎の魚市場や、有名小売食料品店などでも取り扱っていただいております。

さらに、従来は三枚おろし状態の切り身などが加工品の中心でしたが、より消費者に向けた商品開発へ注力しており、ブリの西京漬け、照焼き、みりん干しといった、解凍してすぐに食卓に出せる商品を出荷し、好評を得ています。誰にも真似できない養殖法によって生まれる良質な脂質を豊富に含んだブリの特質を活かした商品ラインナップの充実に一層力を注ぎ、ブランド価値を向上させることで、生産地である五島の名も世界に広げていきたいと考えています。これからも、国内外の皆様へ安心・安全で高品質な食をお届けすると同時に、育てていただいている五島の地へ恩返しができるよう邁進していきたいと思っています。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 森 拓二郎



水産養殖の好立地である五島列島で養殖事業を開始されて以来、半世紀以上にわたって独自の養殖技術開発に今なお取り組まれています。その結果、年間を通じて脂の乗りがよく、かつ栄養価の高い養殖ブリを市場に供給され、高品質が認められて数々の品評会においても高い評価を受けられています。

近年では国内のみならず、中国、韓国、北米、中東、欧州への輸出も行う一方で商品開発に注力され、多様なニーズに応じた商品群を展開しておられます。これからも、五島列島の海が育んだブランド魚の価値が世界中に広がることを期待しています。

SSIndex開発秘話

2022年1月の
記事はこちら



株式会社サステナブルスケールと九州大学の共同研究で作られたESG/SDGs評価モデル“Sustainable Scale Index”（SSIndex）をFFG3行のお客様に提供するための今回のシステム構築は、FFGビジネス開発部のアジャイル開発チームとの協業で行なわれました。ビジネス開発部として初めてFFG3行の全営業店が利用するシステムを作ることになったという開発チームの皆さんに話を聞きました。

—まずはアジャイル開発チームについて教えてください

どうしても世間的にはみんなの銀行が話題になりがちですが、実はみんなの銀行より少し前に動き始めた内製開発のためのチームです。ゼロからデジタルバンクを立ち上げたみんなの銀行とは対照的で、元々あるFFG3行を基盤にしたサービスの開発や既存事業のデジタル化、あとは銀行の枠を超えた新規事業創出活動などを行っています。

最近だと『こうふりネット』という口座振替手続きのサービスが正式にリリースされましたが、あれは地場の収納企業様と実証実験を行いながらビジネス開発部で企画・開発して生まれました。口座振替のお申込みをWEB上で完結できるだけでなく、安価な費用で導入できて、お手続きいただいた情報をデジタルで取り扱うことができるため大きな反響をいただいています。

メンバーの構成は、技術系の専門職なので中途採用ばかりかと想像するかもしれませんが、協力会社の人を除くともう3割くらいがキャリアチャレンジ制度を利用した銀行員になりました。長いメンバーだと転換してから3年超えますし、バリバリ活躍しています。今回SSIndexを開発したチームはその中でも異色で、1年前まで福岡銀行の宗像支店で働いていた3年目行員と韓国インテランシップ採用の2名、それに中途で入ったシニアエンジニアの4名で構成されています。

— 今回のSSI Indexのシステム開発をするようになった経緯を教えてください

はじめは自分が担当していたサービスとの連携というところから参加しましたが、その頃はサステナブルスケール社はお客先企業のSDGsを後押しするというビジョンのもとに打ち手を探っている状態でした。その時検討していた外部のベンダーさんとの進め方の場合は、納品まで数ヶ月は掛かってしまった

めどうしても仮説と検証にかかる時間が長くなってしまう。いわゆるウォーターフォール型と呼ばれる方式を否定するわけではなく、今回の件はアジャイル開発のアプローチの方が向いているように思えました。そこで、小さく始めてお客様に受け入れられるものを探

りながらやりませんかと提案して、ビジネス開発部の実証実験プロセスにのせて協業することになりました。実はOJT中の3人にちょうど良い開発案件を探していたタイミン

グだったので、こちらとしても好都合でした。2021年の5月の下旬に動き始めたときにはまだSSI Indexという名前すら生まれていませんでしたが、7月にリリースできたパイロット版のESG/SDGs評価でお客様の反応を確認できたことからサービス化に繋がりました。また、内製開発チームが存在することを銀行内外の人に知ってもらえる良い機会にもなったと思います。

—最終的にFFGの複数の部署も巻き込んだプロジェクトになりました。こういう他部署との協業で苦労したことはありますか？

やっぱりスケジュールですね！一般的にシステム開発では「時間」「コスト」「スコープ」の3つのバランスを意識するのですが、今回はプレスリリースや通達などで期日は決まっています、コストは主に人件費ですが、開発メンバーの増員も難しく、この2つは動かすことが出来ませんでした。出すと決めた日付はどう

しても守らないと影響が甚大なので今回は「スコープ」での調整をすることにして、機能を絞り込んで、サービス開始日に何とか間に合わせました。

—結果的に半年ほどでサービスを提供開始することができました。この点についてはどうですか？

前職でインターネットサービスをやっていた身からすると6ヶ月というスピード感は早いとは言えないですね。ですが、当時もサステナブルスケールの人が「キラーコンテンツ」という言葉を使われていましたけれども、まずは一番自信のある診断に絞ってパイロット版として7月に公開できて、それに対してお客様の反応を見てから進めることが出来たというのは良かったです。

ただ、今回は運よく1つ目の施策が当たったのでこの期間でサービス開始となりましたが、この結果だけで「アジャイルでの内製開発は安くて早い」と思われるのは我々としては

避けたくて、本来は小さな仮説検証をすばやく繰り返しながらお客様のことを知って正解にたどり着くという手法なんです。

ウォーターフォール型に慣れた人には考え方を切り替えてもらう必要がありますが、内製開発組織を持つ最大のメリットはここにあると思いますし、お客様に寄り添ったサービスを模索していかないといけない銀行にとって武器になると思っています。

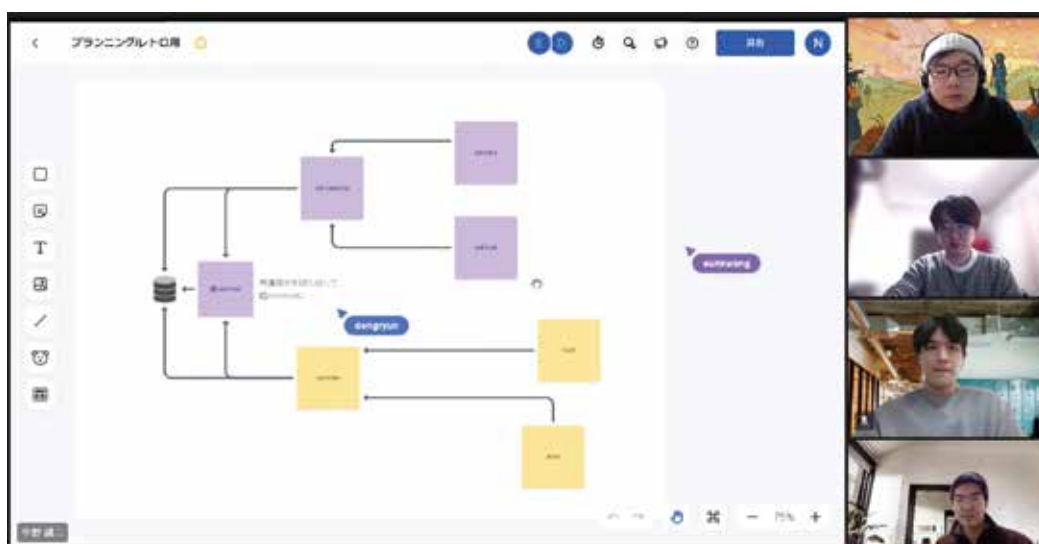
今後もよりよいサービスが作れるよう、こういったコミュニケーションもとりながら進めていきたいです。

— 今後も協業して開発していくことですが、開発の目線ではどのようなことをやっていきたいですか？

無事リリースできましたが、これがゴールではなくスタートだと考えています。

まずは足元の、今回作った評価の仕組みを他社様から使えるようにすることで、評価モデルの精度を向上させていきたいです。

あとは、今回このSSIndexができたことのお客様と銀行員がSDGs観点で話をさせていただききっかけが増えたと思いますので、そこから例えば、様々な環境問題へのソリューションをお持ちの企業様との協業のようなお話に発展することもあるかもしれません。そういうときに開発のメンバーが居れば連携の話をスムーズに進めることが出来ます。部署間の契約は請負となっていますが、請け負った開発をするのではなく内製開発部隊がいることの強みを出せるように、サービスに対して主体的に関わりながらやっていきたいと思っています。

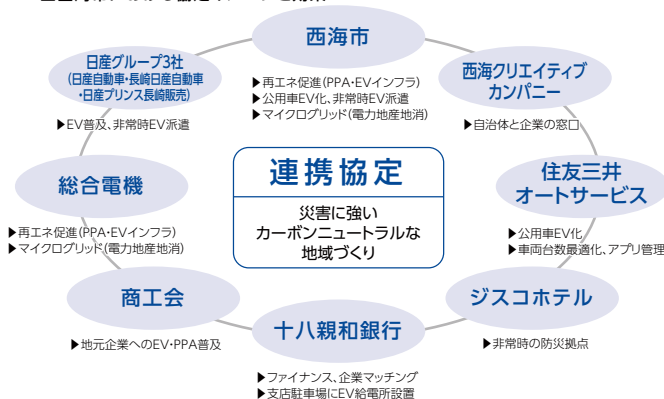


テレワークによる開発ディスカッションの様子

十八親和銀行による企業マッチングを契機に 西海市との10者間連携協定を締結

電気自動車及び再生可能エネルギーを核とした災害に強い
カーボンニュートラルな地域づくりに係る連携協定

■西海市における協定イメージと効果



長崎県の西彼杵半島の北部に位置する西海市は、美しい海岸線など優れた自然景観を有している地域です。

美しい景観の西海市ですが、停電が多いという課題を抱えていました。そこで十八親和銀行は、株式会社西海クリエイティブカンパニー、住友三井オートサービス株式会社とともに、業務効率化を目的とした公用車リースの提案を行い、EVを活用した「停電に強いまちづ

くり」への取組みを進めてきました。西海市がEV導入を検討している中で、脱炭素を目指した西海市のカーボンニュートラルへの取組みにも繋がり、長崎県の多くの企業が参画しました。

こうした取組みの結果、2022年1月28日(金)出島メッセ長崎において、10者間による「電気自動車及び再生可能エネルギーを核とした災害に強いカーボンニュートラルな地域づくりに係る連携協定」が締結されました。

本協定において十八親和銀行は、地域金融機関として金融面での下支えの他、FFGネットワークを活用した企業マッチングを行い、地域課題の解決に取組んでいます。今後も、地域金融機関としての役割を果たすため、地域企業のEV普及やPPA事業への取組みの支援を継続しながら、関係団体との連携を更に強め、西海市とカーボンニュートラルな地域づくりを目指します。



十八親和銀行 八起専務の挨拶



連携協定調印式



EV給電デモの様子



地域とつながるFFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、福岡県と熊本県における観光振興の取組みをご紹介します。

福岡県 糸島市

「食」×「運動」×「九州大学」の連携によるヘルスツーリズム

福岡県糸島市での観光庁 既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業（事業者連携型）の一環として行ったモニターツアーをご紹介します。

糸島市は九州有数の観光地であり、美しい自然環境やこだわりの食材など魅力的かつ豊富な地域資源をもとに多数の観光客を誘引してきました。一方で、観光客のほとんどが日帰り客であり、観光客の滞在時間の伸長への取組みが求められていました。

糸島の地域資源を活用したツアー

そこで、当地域の宿泊施設グローバルホテル糸島（※1）を滞在拠点とする糸島の地域資源を活用したモニターツアー（2泊3日宿泊プラン）を実施しました。

本ツアーは、心身のウェルビーイング向上を目的



①九州大学岸本准教授による最終講評 ②グローバルホテル糸島



③ ヨガ体験



④ 糸島食材を活用したヘルシーフード ⑤ 体験農園



福岡銀行 地域共創部 (左から)麻生・本石
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

としたヘルスツーリズム(※2)の実証実験として、①糸島食材を活用したヘルシーフードの提供、②瞑想及びヨガ等の各種運動アクティビティ体験、③糸島ならではの観光体験(体験農園やジビエ施設見学など)などで構成されています。ツアーの造成にあたっては、ホルモンバランスの崩れや若年層でみられるサルコペニア(※3)の予防の観点から、九州大学基幹教育院の岸本裕歩^{きしもとひろ}准教授にご監修いただき、ツアーの前後での心身の効果測定を行いました。

今後、モニターツアー参加者へのアンケート調査

を踏まえ、糸島市観光協会や地域の事業者等と連携しながら、コロナ禍におけるマイクロツーリズムを念頭においた魅力的な宿泊ツアー販売を目指していきます。

(※1)グロースホテル糸島…2021年8月にオープンした糸島初のオーセンティックホテル。九州大学伊都キャンパスのそばに立地する。運営会社はセトル株式会社。

(※2)ヘルスツーリズム…自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然や温泉、身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持する観光形態。

(※3)サルコペニア…加齢や病気などが原因で筋肉量が減少し、筋力が低下した状態を指す。

福岡県 嘉麻市

アウトドアシティ嘉麻の 自然と食を体験するヒュッゲツアー

福岡県嘉麻市での観光庁 既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業（交通連携型）の一環として行ったモニターツアーをご紹介します。

嘉麻市は福岡市内や北九州市内から車で約1時間の福岡県のちようどおへそ部分に位置しており、「嘉穂アルプスなどの自然」や「嘉穂牛・赤崎牛などのブランド牛」、「極濃トマト・りんごなどの野菜果物」、そして「遠賀川水源で育まれた日本酒造り」などの魅力がたくさんあります。また、嘉麻市では、2021年11月に「アウトドアシティ宣言」を発表し、国連の世界幸福度ランキング上位のデンマークのライフスタイル「HYGGE（ヒュッゲ）」（※4）を基調とした嘉麻流アウトドアによる心地よい体験と時間を提案していく方針を打ち出しました。

日帰りバスツアーの開催

今回、アウトドアシティ宣言に基づく取組みの第一弾として、地域の交通事業者である株式会社ひまわり観光（主催）や大里酒造株式会社、一般社団法人嘉麻市観光まちづくり協会等と官民連携しながら、嘉麻市の魅力を体感できる日帰りバスツアーを開催しました。



① ひまわり観光のバス ② 大里酒造 ③ 酒蔵での体験



6



4



5

④「清喜」のシェフ ⑤嘉穂牛と赤崎牛 ⑥嘉麻の食材を使ったスペシャルランチ

日帰りで嘉麻市を満喫

本ツアーは、酒蔵見学や出来立て新酒の試飲会、福岡市にある「清喜」のシェフによるご当地食材を使ったスペシャルランチの提供、ほっこりとした時間を味わう森林体験などで構成されている日帰りコースで、初めて嘉麻を訪れる方も気軽に楽しめる内容となっています。

今後、嘉麻でしか味わえないコンテンツの磨き上げを通じ、宿泊プランの造成も見据えながらのツアー販売を目指していきます。

(※4)HYGGE(ヒュッゲ)：ほっとくつる心地よい時間、またはそんな時間を作り出すことによって自然と生まれる幸福感や充実感、心の持ち方をあらわす言葉。



7



8

⑦ツアー主催者のひまわり観光中村社長
⑧sleepy cafe nico



9



福岡銀行 地域共創部 (左から)藤永・木原
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254



10

⑨森林体験
⑩デンマークからの国際交流員
レアケ・リンド・イェンセンさん

熊本県 水俣市 芦北町

水俣・芦北 持続的な復興支援 特産品の販路拡大に向けての取組み

最後に、熊本県での水俣・芦北豪雨被災地観光復興支援事業の一環として行った地域事業者への支援をご紹介します。

水俣・芦北地域は、熊本県の最南部に位置し、熊本市内から車で約1時間程度の距離にあります。西側は不知火海しらぬいかいに面して天草の島々を望み、海の幸・山の幸に恵まれ、また、温暖な気候を利用した柑橘類の甘夏みかん・デコポン、サラダたまねぎ、みなまた茶などの特産品があり、新鮮な海産物も多い地域です。

このような魅力ある水俣・芦北地域ですが、令和2年7月豪雨災害で大きな被害を受けました。熊本県では、落込んだ観光誘客の回復を図り、豪雨被災地の創造的な復興を支援すべく事業を立ち上げました。

今回、支援事業の一環として実施する特産品のオンライン販売についてご紹介させていただきます。

水俣・芦北地域では、水俣病という歴史的な経緯から、自然と共生し、自ら高い基準で生産された商品作りを続けてきました。そこで、オンライン販売では、「エシカル(※5)」の観点から、環境にやさしく、事業者のこだわりの詰まった選りすぐりの商品を取り揃えました。

近年、SDGs(※6)に対する意識が高まっていますが、水俣・芦北地域では自然環境に配慮した取組みが長年にわたり行われてきました。

また、本事業では、オンライン販売と連動した企画として「JR博多シティくうてん」LOCAL TABLE(ローカルテーブル)で水俣・芦北フェアの開催(開催期間:2022年3月1日(火)～3月31日(木)までを予定)や、代々受け継がれてきた持続可能な社会への取組みをコンセプトに特産品を使った新商品の開発「水俣・芦北baton(バトン)」、販路拡大を目的としたセミナー「ビジネスマッチング等を行う予定です」。

今後、水俣・芦北地域の復興支援として、観光誘客や販路拡大等を実施して行きたいと考えております。

(※5)エシカル:直訳すると「倫理的」という意味。エシカル消費とは、消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。

(※6)SDGs:2015年9月の国連サミットにおいて全開一致



『写真:石田真澄』

①甘夏みかん ②サップを楽しみに訪れる観光客

上記①、②は、農業を使わない柑橘類を栽培・販売する「からたち」様の取組み。

甘夏みかんの販売を行いながら、より水俣に関心を持ってもらおうと夏場に「SUP(スタンドアップパドルボード)」の体験も行う。



③ オンライン販売 (ECサイト『エンニチ』にて水俣・芦北特集企画)



詳細はこちらから
※水俣・芦北特集企画は、
2022年3月1日(火)～
27日(日) まで開催予定

で採択された国連目標です。2030年までに「誰ひとり取り残さない」社会を実現させることを目指しており、17の目標(ゴール)と、更に細分化された169のターゲットから構成されています。



④ 水俣・芦北baton (バトン)のコンセプトイメージ



⑤

⑤ JR博多シティ くうてん「LOCAL TABLE (ローカルテーブル)」

⑥ LOCAL TABLEで提供予定のシラスのアヒージョ

⑦ LOCAL TABLEで提供予定の柑橘のパフェ



⑦



⑥



熊本銀行ソリューション営業部 (左から) 大塚・上田
【お問い合わせ】TEL(096)385-1280

FFGは地域が抱える課題解決や地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取り組み事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- 産業振興
- 教育文化芸術
- まちづくり
- エネルギー
- ヘルスケア

福岡銀行 地域共創部
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

地域と共生するFFG

天草パールガーデン& 海中水族館シードーナツ リニューアルオープン!

さん わ こうぎょう
三和コンクリート工業 株式会社
にしき ど やす すけ
代表取締役 錦戸 保介 氏
取引店: 熊本銀行 天草・いつわ支店



天草4号橋(前島橋)と3号橋(中の橋)を背景に(左から野村頭取、錦戸社長)

体験型観光事業による地域活性化で、 持続的なまちづくりと次世代教育を目指す。

日本の地域社会では、人口減少、少子高齢化といった課題が、大都市にくらべてより深刻な状況となっており、地域社会の将来を見据える時、サステナビリティの考えやSDGsの取り組みが欠かせないものとなりつつあります。

熊本県上天草市松島町にある前島地区は、風光明媚な景観から観光拠点化が進められており、2021年12月にリニューアルオープンした「天草パールガーデン&海中水族館シードーナツ」は、前島地区における観光拠点の要ともいえるべき施設。同施設の運営を通じて地域活性化を図る錦戸企業グループの錦戸保介社長にお話を伺いました。

観光資源としての ポテンシャルが高い天草

私たちが運営を手がける「天草パールガーデン&海中水族館シードーナツ」は、もともと真珠や土産物販売、レストランなどの観光施設「天草パールセンター」と「わくわく海中水族館シードーナツ」が前身で、それぞれ天草パールセンター株式会社と株式会社松島町観光開発公社が運営していた経緯があります。

一方、私たち錦戸企業グループは、コンクリート二次製品製造販売が主力事業の三和コンクリート工業株式会社を中核として、石油、プロパン、運輸、管工事、通信事業、リゾートホテル、高齢者介護施設など、約20業種から成る組織で、幅広い事業活動を通じて60年以上にわたり天草の

地域経済活性化への寄与に力を注いできました。

2017年に、日本M&Aセンター株式会社の仲介で事業譲渡を受ける運びとなったのですが、観光によって天草の活性化に貢献したいという気持ちから事業を引き受けた次第です。天草はもともと観光資源としてのポテンシャルが高い地域で、天草五橋が開通した1966年当時、天草と阿蘇の日帰り観光客数はともに



約2,000万円をかけて製作した送迎バス「イルちゃん号」

約500万人と同規模でした。それが熊本地震の震災前には阿蘇が1,800万人に對して、天草が450万人と大きな差ができてしまい、観光産業に再び注力しなければ、人口減少など地域が抱える課題がいつそう深刻化するおそれがあります。

また、地元の上天草市も観光振興に力を入れており、行政機関が前島地区の観光拠点開発に積極的に取り組んでいる状況も、当グループが事業を引き受ける決断に至った理由です。

思わぬ規制の縛りを乗り越え 景観に馴染む和みの場を創出

二つの観光施設で構成される「天草パールガーデン&海中水族館シードーナツ」のうち、「天草パールガーデン」の前身である「天草パールセンター」は1966年開業で、当グループへと運営が引き継がれた時点で建物は著しく老朽化が進んでいる状態でした。改装するにしても限定的にしかできないため、全面的な建て替えが必要と



パールの店「天珠館」(左)とカフェ「café do mar」(右)



広場内のシンボルモニュメント

判断。前島地区の美しい眺めに似合うデザインコンセプトを取り入れる計画が進められました。

当初のイメージは、エーゲ海に浮かぶ有名な観光地のサントリーニ島を原形としたもので、島に建ち並ぶ丸い青屋根と白壁の建物を参考にしたいと考えていました。ところが、当施設は雲仙天草国立公園の区域内にあるため、環境省による規制が設けられており、建物の屋根の形や壁の色から植栽に到るまで、事細かにルールが定められていました。

そこで、景観と立地に配慮し、「日本の原風景」を基本コンセプトにした施設に造り替えるべく計画が見直されました。「原風景」を思わせる黒塀調の外壁が目を引き、建物に、朱の差し色や内装で遊び心を加え、いわゆる「和モダン」な印象に。環境省の認可が下りるまで一年以上かかってようやく着工にこぎつきましたが、結果的には、周囲の景観に溶け込みつつ、訪れる人の心を和ませる理想的な空間を実現できたのではないかと考えています。



1.自然の海中を見られるのはここならではの／2.幻想的なクラゲたち／3.5頭のイルカたちとふれあえます／4.イルカたちのダイナミックなジャンプをこんな至近距離で見られます／5.かわいい動きをするチンアナゴたち



リニューアルを機に 「体験型観光」を打ち出す

当施設のもう一つの目玉である「海中水族館シードーナツ」は、熊本県内唯一の水族館である点が最大の特長。また、まるで船舶のように陸上と係留された施設であるため、西日本で唯一の海に浮かぶ水族館でもあります。天草でよく見かける海の生き物はもちろん、世界中の海水魚、淡水魚、数センチの小型魚から1m以上の大型魚まで、約200種、2千点の多種多様な生物を飼育・展示。館内地下1階からは水深3mの海中を観察できます。

私たちが観光施設の運営を引き継ぐにあたって重点項目として位置付けたのは、「体験型」施設への転換。近年、大衆の消費傾向が「モノ」から「コト」へとシフトしている状況にあって、「体験型観光」が地域観光活性化の重要なカギとなっています。

以前からイルカとのふれあい体験などができる水族館でしたが、大規模な水族館に

くらべると施設がコンパクトである分、来訪者がより身近に生き物を感じられる環境となり、魅力的な差別化を図れる強みがあります。そこで、ふれあい体験、えさやり体験、トレーナー体験などのプログラムを充実させて、これまで以上に親しまれる施設を目指していきます。

さらには、見晴らしのよい眺望と開放的な雰囲気を楽しめるカフェ、海鮮丼を提供する飲食店などを新設した「天草パールガーデン」にも体験型施設への転換を推し進めて、真珠ブレスレットを始めとするオリジナルアクセサリ作り体験、キャンドル作り体験などを実施しています。

雇用創出、生きがいの提供、 教育への参画で地域貢献したい

観光を通じた地域活性化の取り組みは、持続可能な開発目標に向かって行動する国際的なSDGsの考え方に合致する部分がいくつかあるように思います。当施設のリニューアルでは新たに従業員を増やし



淡水魚の魚種と数も充実している

ました。雇用機会の創出を通じて地域貢献ができればという思いと同時に、従業員各自に対して、労働の対価としての報酬ばかりでなく、やりがいや自己成長も手にしながら、活き活きと長く働ける職場環境の提供を目指しています。これはSDGsの開発目標でいうところの「8. 働きがいも経済成長も」「11. 長く住み続けられるまちづくりを」に考え方の点で通底しているように感じています。



シードーナツからパールガーデンを望む

また、「海中水族館シードーナツ」は県内唯一の水族館である点を活かして、子供たちが海の生き物を知り、興味をもって学びを進めるきっかけの場としての役割を強化していきたい考えです。たとえば、地域の産学官の連携が今後さらに密になっていけば、海産系の仕事に従事する人材や海洋分野の研究者の育成につながる教育拠点として当施設が発展できる素地は十分にあるはずです。そして、そうした取り



みなさまのお越しをお待ちしております(左3人目から錦戸啓人専務、錦戸保介社長、野村頭取、海悦支店長(熊本銀行))

組みが将来的に進んでいけば、「4.質の高い教育をみんなに」、ひいては「14.海の豊かさを守ろう」に通じる活動も視野に入ってくるでしょう。

観光施設が集積する地区の シナジー効果をねらって

この前島地区では、「リゾートテラス」「ミオ・カミーノ」という観光施設が当施設に

隣接して並び、今後も近隣にリゾートホテルなどができる予定です。当施設では、コロナ禍の状況が収束したら、演奏会や緑日のような催しなど、施設内広場での催事による集客の取り組みを計画中ですが、近隣施設と連携しながら天草らしいイベントを展開して、シナジー効果で地域の求心力を高めていきたいですね。

天草は、熊本市からの場合、車によるアクセスの面でやや不便な立地とされますが、航空機なら福岡市から35分で乗り込むことも可能。天草が地盤の企業体として観光活性化の一翼を担い、県外からも観光客を取り込めるような話題づくりを仕掛けていけたらと思っています。

天草パールガーデン& 海中水族館シードーナツ

■所在地：

〒861-6102
熊本県上天草市松島町
合津6225-8

■電話番号：

0969-56-1155

■駐車場：無料



Topics of the month

壱岐市逆参勤交代構想モデル地方創生テレワーク推進事業 「壱岐SDGs共創キャンプ」を開催

ふくおかフィナンシャルグループは、壱岐市及び平成28年度に官民協働で立ち上げられた一般社団法人壱岐みらい創りサイトが実施する「壱岐市逆参勤交代構想モデル地方創生テレワーク推進事業」の支援を行っています。その事業の一環として、壱岐市における地域課題解決やビジネス創出等に資する取り組みとして、壱岐島内にて1泊2日の「壱岐SDGs共創キャンプ」を実施しました。



キャンプに参加されたみなさま

この事業は、内閣府地方創生テレワーク交付金の制度主旨に基づき、都市圏から地方への人の流れを創出し、地域経済活性化や地域課題解決に繋げるため、壱岐市のテレワーク・ワーケーション先進地としての受入基盤、SDGs未来都市としての先駆性等の特色を活かし、関係人口創出、最終的には企業進出、移住・定住まで段階的に推進することで、地方創生を実現するとともに持続可能な地域社会の構築を目指す取り組みです。

昨年の12月3日(金)～4日(土)に開催した「壱岐SDGs共創キャンプ」には、まちづくり関連企業、メディア企業、ライター、クリエイター、デジタルマーケティング企業、経営コンサルタント、ミシュランシェフ、その



フィールドワーク
(みなとやゲストハウス、芦辺浦まちづくり)



フィールドワーク
(フグ陸上養殖場見学)



フィールドワーク
(壱岐焼酎、酒蔵見学)



フィールドワークで感じた課題をグループ内で共有



フィールドワーク(杵岐ゆず生産組合、加工場見学)



焼酎ミニミュージアムも見学



観光名所「猿岩」を見学



アイデア発表

他一般公募による計15名の方々が参加し、4つのテーマごとにグループ分けされ、杵岐市内でフィールドワーク、ワークショップ、発表等を行いました。

博多港からジェットfoilで杵岐に到着すると昼食の後、すぐにフィールドワークを実施。酒蔵、水産関連事業者、設計事務所、ゆず生産組合、オリブ園等を訪問し、それぞれの事業者の取り組みや考え・想いをヒアリングしつつ工場見学や街歩き等を実施しました。

その後は場所をテレワークセンターに移し、ワークショップを開催。フィールドワークで印象に残った取り組みや感じた課題をもとに、グループでテーマを設定し、取り組みアイデアを検討しました。翌日もワークショップの続きを行い、最後にはグループごとに取り組みアイデアを発表し、他のグループとの共有を行った。

て締めくくりました。

参加した方々に感想を伺ったところ、地元の人に愛されている食堂で味わった杵岐産の食材で作られた食事、自然と調和した観光名所など杵岐の魅力を感じただけでなく、杵岐島外からは感じられなかった地域のもつ課題に直面し、その課題解決に取り組む事業者や人と交流することによって学びを深めたことにより、今後も杵岐との関わりを持ち続けたいなどの感想が聞かれました。

ふくおかフィナンシャルグループはこれからも九州の魅力発信と地位向上を目指し、様々な取り組みを企画してまいります。

「雇用」ではない
新しい人材活用

「プロシエアリング」が 注目される理由と うまくプロ人材を 活用するポイントとは

『広がる副業・兼業』
社外のプロ人材を活用する
企業が増加

少子高齢化による労働人口の減少、グローバル化、2020年後半から世界で進んだ事業承継など、世界のビジネス環境が劇的に変化し、すべての企業に変革が求められています。このような中で、どうすれば企業は時代に合わせて変革し、競争優位性を高め続けることができるのでしょうか。

労働人口の減少と東京への一極集中の最中、今注目されているのが主に副業・兼業で特定のミッションを担う外部人材の活用です。その中でも高度な経営課題を解決できる経験・知見を保有している「プロ人材」への注目が高まっています。職能を活かし、1社ではなく複数の企業に活躍するプロ人材は、企業の生産性向上のための1つの有効な手段と

して国や自治体、大手から中小企業など幅広い組織が活用し始めています。

また新型コロナウイルス感染拡大の影響による働き方改革が推進され、首都圏中心にリモートワークが普及していることで仕事場は全国に広がっています。ある意味で自社に必要な人材と働けるチャンスが全国に生まれたと見ることもできるかもしれません。

株式会社サーキュレーション（以下、サーキュレーション）は、外部のプロ人材の経験・知見を複数の企業でシェアし経営課題を解決する「プロシエアリング」事業を運営しています。

プロシエアリングとは、高い職能を持つ複数企業で同時に活躍するプロ人材を、経営課題に合わせて「雇用」ではなく業務委託で「活用」という、新しい人材活用の手法です。2014年の設立以来、

サーキュレーションには1万8,000名以上のプロが登録し、9,300件以上のプロジェクトで実績を上げてきました。(2021年10月末現在)

今回は副業・兼業人材、特にプロ人材をどのように経営に活かすことができるか、正社員との比較や国や自治体の取り組み、九州エリアでのプロ人材活用事例などを通して解説していきます。

正社員として雇う最大のメリットは、技術やスキルを社内に蓄積でき、且つ情報や技術が外に漏れる心配をしなくて良い点です。逆に、正社員は適材が見つかるまでに非常に時間を要し、苦勞して探し出した人材がすぐにまた転職してしまうこともあります。ミスマッチだったときも、会社都合で辞めてもらうわけにはいきません。

一方で外部プロ人材を活用する大きなメリットは、特定の分野に対する経験値が圧倒的に高いことや、即戦力として必要な期間だけ活用できることと言えます。プロ人材や副業・兼業人材を活用するデメリットは常に会社にいるわけではないため、依頼事項を適切に絞ったり、契約トラブルが起きないように適切に管理する必要があるということです。

外部プロ人材に依頼する際は、「業務内容や範囲の設定」を事前にしっかり合意しておくことが重要です。どんなゴールを目指した契約なのか、そのためにどんな業務内容を行うのか、役割体制やスケジュールの認識を合わせることで混乱を防ぐことができます。

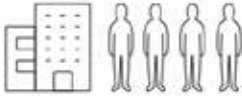
また、外部への情報漏洩を防ぐためには機密保持契約を締結する方法があります。通常、プロシェアリング事業者や紹介会社経由であれば既に締結していることがほとんどで

すが、直接やり取りする場合こうしたリスクを自社で管理する必要があります。初めてのプロ人材活用

の場合は、依頼内容から契約内容、稼働中のサポートもしてもらえる事業者に依頼するのがおすすめです。

プロ人材って？

正社員 × 外部プロ人材

正社員	外部プロ人材
	
技術やスキルを社内に蓄積できる	特定の分野の経験値が圧倒的に高い
情報や技術を外に漏らさずに済む	即戦力として使える
帰属意識がある	必要な期間だけ雇える
他部門や他チームとの連携を取りやすい	スキルのミスマッチが起こりにくい
	ボーナス、福利厚生費、退職金などがない
	保険や厚生年金の一部を負担しなくて良い
	研修・教育に時間や費用がかからない

2019年以降、 地方創生トレンドは

「移住」から「関係人口」へ

地方創生の課題解決の方向性は現在、第2フェーズに移行しています。

少子高齢化や東京への人口一極集中により、九州を含めた全国各地域で人手不足や経済活動の衰退が懸念されています。新型コロナウイルスで事業環境が悪化する中で、地域の中堅・中小企業の成長と生産性向上は喫緊の課題でした。

日本政府もこの課題には危機感を持って取り組んでいます。内閣府のまち・ひと・しごと創生本部によると、2015年ごろは第1フェーズであり、「移住」を増やすことを目指していました。例えばUターン・Iターンなど、地方から東京に就職で出て行った人材が再び地方に帰って

働きやすくなるという取り組みは読者の皆様も耳にされたことがあるかもしれません。

しかし、地方創生法に基づく取り組みをはじめとした様々な地方振興策だけでは、首都圏との賃金格差などの課題もあり、毎年7万人以上というスピードで増加していく東京への転入超過を抑制することはできませんでした。

そこで内閣府は2018年に「関係人口」の増加に舵を切りました。移住はできなくとも、地域の経済圏で生産活動に関わる人たちを増やすことで、地域経済を活性化させようという狙いです。実際に、就社できないが週1回なら地方に働きに来れるという人は多く、働き方改革の流れを受けて副業・兼業で地方創生に関わることができる人の数は増えました。こうした取り組みでは、地域に住みながら都内企業に勤める人材

にも、地域のプロジェクトに参加してもらうことができます。冒頭に述べたようなプロジェクトごとに参画する副業・兼業のフリーランスやプロ人材も関係人口に数えられます。

国や全国の自治体が 企業×外部人材の マッチングを促進

実際に、自治体と業者が連携してこうした副業人材のマッチングを進める事業が実現されてきました。一例を挙げると、内閣府が2020年に行った地域企業と外部人材のマッチングを支援するための補助事業「先導的人材マッチング事業」があります。実際にマッチングされた662件のうち半数を超える349件が常勤雇用ではなく、「副業／プロ人材」活用となり、初めて「常用雇用」でマッチングした企業数を上回りました。

また他にも、2018年には広島県福山市、2019年には宮城県仙台市、奈良県生駒市、長野県塩尻市、2020年以降は神戸市、岡山市、渋谷区、京都市など主要都市にも企業や自治体が外部人材を活用する取り組みが全国で急拡大しました。2021年には福岡市そして北九州市も外部人材をプロジェクトベースで活用する取り組みを開始しました。

一緒にサポートしています



株式会社サーキュレーション
プロシェアリング本部
九州支社
中西 亮太 様

今回記事を寄稿いただいた提携先の
1社、株式会社サーキュレーション様

FFGのお取引先様でのプロ人材活用事例

株式会社 林田産業（福津市／従業員50名）

これまで3名のプロ人材を活用しIT化、 新規事業、SDGs推進で企業変革

一般廃棄物事業（し尿汲み取りほか）、下水処理場維持管理、グリーンリサイクル事業（剪定した木、葉等のリサイクル）を行う中小企業。これまで3名のプロ人材を活用し、ITインフラ整備のプロジェクトでは年間6,000枚超の用紙削減、年間130時間超の労働時間の削減に成功。

さらに新規事業開発プロジェクトでは、既存事業がSDGs・サステナビリティに親和性が高いという自社の持つ強みを再認識し、中小企業ながらサステナビリティを重視した事業運営とブランドの形成を目指すという方針転換を行いました。経営幹部が元々自ら学ばれていたこともあり、現在はプロ人材と共に社内、特に現場社員までのSDGs理解～浸透プロジェクトを推進中です。

こうしたプロジェクトをリードしたプロ人材は、普段は複数社のWeb広告運用やコンサルタント業をしているため、1つの企業に雇用されることは現実的ではありませんでした。週に1回だからこそ、独立前の企業での実務経験を活かしたプロジェクトに参加し、成果を出すことができました。

自社内でリサーチし、ヘッドハンティングや採用などで優秀な人材を雇用したり、自社内で社長や経営陣自らが機会を与えて育成する選択肢がある一方で、実際にノウハウを持つプロ人材を活用することが非常に効果的だと感じられる事例の1つです。

そのような人材を採用したいという要望があった場合は、プロシェアリングの活用を検討・提案してみてもいいでしょうか。



上/林田産業本社、下/外部人材とのミーティング風景

■林田賀津利社長

当社では3つの視点で外部人材を活用しました。その3つとは①新規事業の創出②社内IT化③SDGs推進です。

その中で社内IT化についてお話しすると、当社のネックであったIT化が加速度的に進みました。具体的には社内のキャッシュレス化、紙からデジタルへの移行など社内業務全般に影響する業務改革を実行し、生産性が向上しました。現在は社内業務だけでなく、自社工場へのトラックの搬入による渋滞解消をITの力を使い改善する施策を外部人材と共に実施しています。

他にもSDGs支援としても外部人材のサポートを受けています。当社の事業は主に資源の再利用であるリサイクル事業を行っています。これは持続可能な社会への貢献に繋がる事業ですが、SDGsの視点から、更に自社の事業を見直し、企業ブランディングに繋がりたいと考えています。そのサポートにも外部人材の方にサポートを頂きながら行っており、今形になろうとしています。

■FFGビジネスコンサルティング 奈須副調査役

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先様でも「外部人材」の活用による課題解決が広がりつつあります。新型コロナウイルスの影響が各企業に与えた影響は大きく、これまでにない対応を求められる中で、外部の知見を活用した課題解決の事例が増えています。主に①新規事業開発②デジタル化支援③生産性向上支援、この3つの領域でのニーズが高くなっています。自社でも同じような課題があるという方は、解決方法の1つとして是非、ご検討してみてもいいでしょうか。

FFGビジネスコンサルティングではそういった人材紹介会社と複数提携しており、ニーズにあった人材のご紹介が可能です。もしご興味のある方は、下記よりご連絡ください。

お問い合わせ

株式会社FFGビジネスコンサルティング ビジネスサポート部 人材紹介グループ

TEL092-723-2224

受付時間／平日9:00～17:00 担当／奈須・上野

FFGビジネスコンサルティングでは、FFGのお取引先企業様の人材紹介だけでなく、様々な人材ソリューションを提供しています。

FFGが提供するビジネスマッチング FFG BMS

ビジネス マッチング システム

新たな取引を開拓したいとき、BMSに情報登録するとFFGネットワークによるきめ細やかなサポートで、簡単かつ効率的に自社の製品や技術を発信できます。

このコーナーでは実際に登録されているマッチング可能な企業様をご紹介します。



FFG BMS 登録情報のご紹介

提供企業・商品・サービスについてのお問い合わせは、近隣のお取引のある銀行窓口を通じてお願いします。



【所在地】 福岡県糟屋郡志免町南里2-20-9
【業種】 菓子食品卸売業
【紹介支店】 福岡銀行 福岡流通センター支店



お勧めのポイント

これまでゆずの加工品といえば果肉や果汁を使用したものが多く、皮は廃棄されるばかりでした。風味も栄養もあるその皮をなんとか再利用できないかと試行錯誤の末に誕生した商品がこの「ゆずのまんま」です。販売開始から15年以上経過した今でも人気の商品です。

企業情報

九州産の原料を使用したドライフルーツ「ゆずのまんま」「しょうがのまんま」を販売しています。商品の原料は国内産、とくに九州産にこだわって使用しています。フードロス削減につながるこちらの商品を活用してSDGsへの取り組みとしてアピールしませんか？

フードロス削減につながる「ゆずのまんま」を活用してSDGsへの取り組みをアピールしませんか？

かくやフーズ株式会社

浴場や温泉施設をお持ちの宿泊業の皆様、オールインワンの保湿クリームのお試しトレーを設置しませんか？

お勧めのポイント

これ一つで化粧水・美容液・乳液・クリーム・化粧下地の機能があるオールインワンタイプ。

医薬部外品の認証を受けており、敏感肌の炎症などを緩和する「グリチルリチン酸2k」と、メラニンの生成を抑え明るい肌へ導く「プラセンタエキス」を配合しています。

無料でお試し頂くことで、顧客満足向上も期待ができます。

企業情報

基礎化粧品を中心とした製造販売会社です。機能性に富んだ商品が開発コンセプトで、20種類ほどのスキンケアアイテムがあります。

ASEAN向け化粧品口コミサイト「COSMERIA」をはじめ国内外の化粧品サイトで人気ランキング第1位を獲得。かんぽの宿や、旅館・ホテルの浴場施設、通信販売などで取り扱っています。



【所在地】 熊本市東区沼山津2丁目1-10
 【業 種】 化粧品製造販売
 【紹介支店】 熊本銀行 桜木支店



快適で安心な大空間を1台で実現。 業務用加湿空気清浄機でウイルス対策しませんか？

お勧めのポイント

ピュアウォッシュャーは大人数が利用するパブリックスペースに対応した業務用加湿空気清浄機です。

テニスコート1面分に相当する大空間をカバーする性能を持ちながら、除菌・加湿・消臭・空気清浄のすべてをこなします。メーカーは日本が世界に誇る株式会社クボタ。日本国内で製造されており、高品質をお約束します。

企業情報

明治36年創業。機械工具・建設資材・住設管材・エコ関連機器の専門商社。ドイツ製特殊接着剤マルチメタルの公式日本代理店をしています。県内NO.1の取り扱いアイテム数を有し、豊富な知識とネットワークを駆使した対応で、高い評価を得ています。

近年、工事部を設立し、受注から施工まで一貫体制で行っています。



【所在地】 長崎県佐世保市卸本町25-2
 【業 種】 建設資材卸
 【紹介支店】 十八親和銀行 佐世保支店





Dalian Representative Office

大連駐在員報告



中国のコンビニエンスストアの動向

はじめに

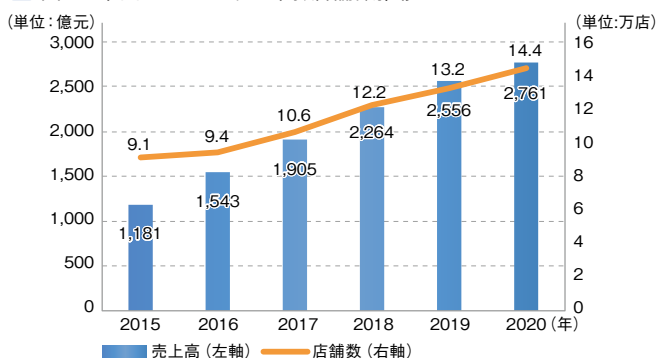
中国コンビニ市場は、2020年時点で売上高2,761億元（約5兆円、1元＝18円換算）、店舗数14・4万軒に達し、2015年と比べ、売上高は2・3倍、店舗数は1・6倍に増加しており、中国経済の発展とともに大きく成長してきました。【図1】

当初は、コンビニといえば軽食や日用品を購入する単なる小売店でしたが、競争や技術革新による新サービス等により、身近でより魅力的な存在へと変化したように感じられます。

日系コンビニについて

1996年に日系コンビニとして中国上海に初出店したローソンをはじめ、セブンイレブン、ファミリーマートの日系大手コン

■ 図1 中国のコンビニ売上高、店舗数推移



出所：中国チェーン店経営協会 (China Chain Store & Franchise Association)

■ 図2 2020年 中国のコンビニ店舗数ランキング

順位	店名	店舗数
1	易捷	27,600
2	美宜佳	22,394
3	昆仑好客	20,212
4	天福	5,808
5	ローソン	3,256
6	ファミリーマート	2,967
7	セブンイレブン	2,387
8	十足、之上	2,358
9	見福	2,021
10	便利蜂	2,000
⋮	⋮	⋮
95	ミニストップ	137

出所：中国チェーン店経営協会 (China Chain Store & Franchise Association)

ビニ3社は、1990年代後半から中国事業を展開しています。ローソンは上海に加えて重慶や成都といった内陸部の中核都市を中心とする西南地域、セブンイレブンは北京や天津の大都市エリア、ファミリーマートは上海を中心とする華東地域と各ブランドとも異なるエリアで展開しており、3社とも店舗数トップ10に

ランクされています。【図2】
日本でも馴染みのある大連市（遼寧省）には2011年にローソンが初出店し、周辺地域を含めて現在249店を展開しています。遼寧省の省都である瀋陽市においても店舗数を増加させており、東北地域を重要な市場と位置付けています。



日系と中国系の「コンビニ」比較

中国のローソンも日本のローソンと同じように、弁当、パン、デザート等PB商品が豊富で日本アニメとのコラボ商品やおもちゃ等、バラエティ豊かなラインナップとなっており、日本と中国メーカーの商品が同程度の割合で陳列されているのが特徴です。

また、求めるクオリティが高く、採用のハードルは非常に高い

■ 写真1 中国のローソンの陳列商品



■ 写真2 中国系コンビニの陳列商品



と思われるが、PB商品の材料に日本から調達した原料を使用したり、期間や店舗限定で日本各地の特産品を販売したりするなど、常に顧客に飽きられないよう商品開発や新商品の導入が行なわれています。商品陳列は余裕のある配置で全体的に商品が見やすく取りやすいよう工夫されています。[写真1]

一方、中国系コンビニでは、PB商品が少なく大半が中国

メーカーの商品です。おもちゃや限定商品等、目新しい商品はあまり見られず、1つの棚に密集して陳列されている印象を受けます。[写真2]

おわりに

日系コンビニは中国系コンビニに比べて、現時点では商品種類や品質、店舗運営等、多くの点において優位性があるように感じ

ます。来客数や店舗数の伸びながらも消費者の支持や期待の高さが窺えます。

一方で、2017年に北京で創業した便利蜂(中国系コンビニ)は、ビッグデータを活用した商品管理や省人化等、先進技術を駆使した新形態のコンビニとして注目を集め、急速に規模を拡大しています。中国市場で持続的に成長していくためには、消費者ニーズの変化に対応したサービスや、利便性の高い技術の導入が求められるでしょう。

福岡銀行の海外駐在員事務所では、市場調査、現地進出、ビジネスマッチング等、海外ビジネスに関する各種ご相談を承っておりますので、お気軽にお取引店までお問い合わせ下さい。

2021年12月21日現在
(大連駐在員事務所 益野 裕至)

「父親であることを楽しむ」 新しい価値観が社会を変える

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム会員 株式会社ジーエー・タップ／+TAP



長崎県佐世保市で実施したイクボス研修



子どもと過ごす時間を大切にする父子遠足

8 働きがいも
経済成長も



近年、マスコミによるSDGsの発信だけでなく

小中学校・高校・大学でのSDGsに関する教育機会も増え、

日本全体でSDGsの認知度は上昇してきています。

SDGsに少しでも関心がある企業のみなさまへ向けて、ビジネスのため、社会のために

行動を起こす1歩となるための情報「Action for SDGs」を

株式会社ジーエー・タップが連載でお届けします。

第3回目は、「働きがいも経済成長も」をテーマに

「NPO法人ファザーリング・ジャパン九州」の森島さんにお話を伺いました。

笑っている父親になろう

NPO法人ファザリング・ジャパン九州は、主に父親の育児支援を目的に全国展開をしているNPO法人ファザリング・ジャパンの九州支部として2010年4月に立ち上げました(2012年7月1日NPO法人認可取得)。

ミッションは、「良い父親」ではなく「笑っている父親」を増やすこと。Fathering(ファザリング)＝「父親であることを楽しむ」ことの理解と浸透をミッションに掲げ、子育て中の親や企業・自治体に向け事業展開をしています。ファザリング・ジャパンでは、父親



男性の育児推進のための企業向けセミナー

が変われば、さまざまな社会課題が解決できると考えています。例えば、父親育児の推進によって残業が減り、ワークライフバランスの見直しや働き方改革、また母親のワンオペが原因の一つである産後うつなどの予防が期待できます。

育児は子どものためならず

子育ては成長のチャンスです。仕事との両立をするためには、それまで以上に主体的に効率よく働く必要があります。仕事一辺倒の時よりも、視野やアイデアの幅、パパ友や地域交流などで人脈が広がります。子どもを通じて行う地域活動は異業種や異世代交流にもつながり、多様性や対話力が身に付きます。出産を経験する母親に比べて、父親としての変化を感じることができないかもしれません。出産後、父親にできないことは母乳を直接あげることだけ。産後の妻を支えるのは夫の大きな役目になります。育児は誰もが初めての経験です。子どもと多く触れ合うことで愛情が育まれ、より育児に積極的になり好循環が生まれます。

男性育児推進、待ったなし

昨年6月に可決・成立し、今年4月より段階的に施行される、改正育児・介護休業法。育

児休業取得率は女性の81・6%に対して、男性は12・65%。今回の法改正は「育児休業をより取りやすくする」ことがポイントになります。

これまでどの主な変更点としては以下になります。(詳細は厚生労働省HPに掲載されています)

■ 出生直後の時期における柔軟な育児休業の枠組み『産後パパ育児』の創設。

■ 育児休業を取得しやすい雇用環境整備。

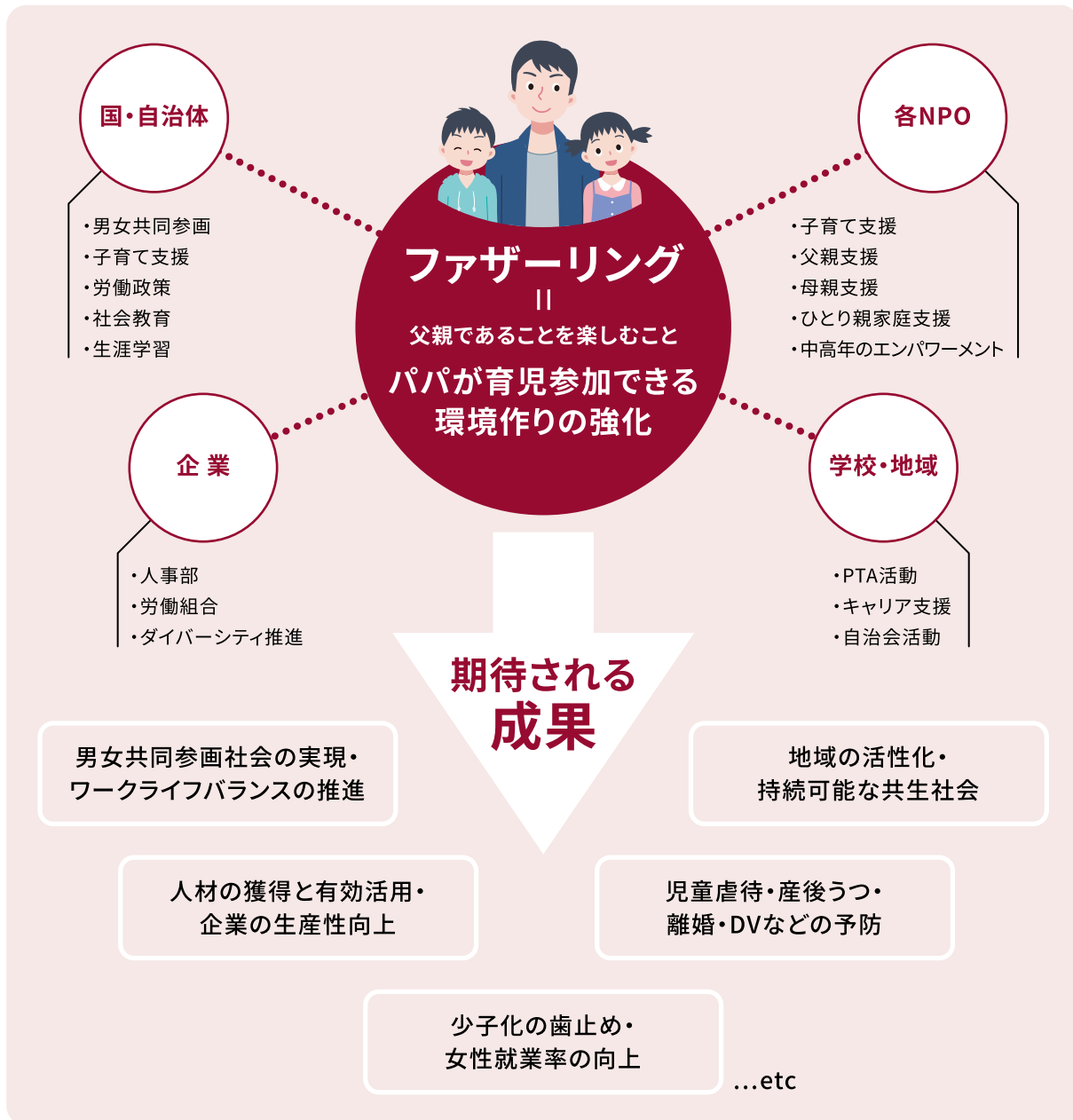
■ 対象者に対して、事業主から個別の制度周知及び休業の取得意向の確認のための措置義務。

■ 育児休業の分割取得(産後パパ育児を除く)。

■ 大企業は育児休業の取得の状況の公表の義務付け。

今回の法改正の背景には、男性も育児・家事をすることが当たり前な時代ですが、その時間は女性に比べて3分の1程度しかありません。また、出産後の女性が仕事と子育ての両立が困難となり退職する状況も未だ残っています。男性自身も育児休業を取りたくないわけではなく、取得しなかった人の約半数は取得したいと考えていました。実際取得した男性も、1年近く取得する女性に対して、1～2週間ほどしか取得していません。これらの背景を改善するための法改正でもあります。

父親支援をめぐるネットワークの相関図



鍵を握るイクボス

「イクボス」とは男女問わず、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス（仕事と生活の両立）を考え、部下のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自ら仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）です。男性が育児休業制度を利用しなかった大きな理由に、「職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから、または会社や上司、職場の育児休業取得への理解がなかったから」があります。企業にとって男性育児は、職場の業務を見直し、風土を改革するチャンスです。また、育児休業取得を経験した男性への調査では、大多数がワーク面、ライフ面ともに好影響を与えたという結果が出ています。スタッフが成長するこの機会に、ただ取得をさせるだけではなく、育休中の過ごし方もアドバイスできるようにイクボスを目指してください。

〈お問合せ先〉
特定非営利
活動法人
ファザーリング・
ジャパン九州



e-mail: info@fjq.jp
URL: <https://fjq.jp/>

「やりたい」を、「できる」に。

+TAP

イベントのご案内

TRY AND POSSIBLE

+TAPでは、「交流と共創」をテーマに地域経済、まちづくり、SDGs推進の活性化をめざし、多彩なイベントを展開し、さまざまな企業、人とのネットワークを広げています。

Event Information



法改正で求められる

『男性育休』の活かし方セミナー第2弾

昨年6月に可決・成立し、今年4月より段階的な施行が始まる、改正育児・介護休業法。企業の皆さんは、どのような準備をしていますか。企業にとっては、育休で社員が抜けることで影響が出ると考えるところも少なくないのではと思います。それが、男性育休が増えない大きな理由、「職場の雰囲気や上司の理解不足」に繋がっているのではないのでしょうか。ファザーリング・ジャパン九州では、企業の皆さんが今回の法改正の背景を知り、本質を正しく理解活用することにより、男性育休が推進されることはもちろん、企業も大きく成長するチャンスと考えています。この機会に、企業の制度や風土を振り返ってみませんか。

日時

2022年4月14日(木)
19:00~20:30

会場

+TAP大名
福岡市中央区大名1-12-57 福商会館3F

参加費

無料

定員

25名(オンライン配信も予定)

参加対象

企業経営者、管理者、
人事担当者等(対面実施)

お申込み

Peatix
<https://paternity-leave.peatix.com>



プログラム

- セミナー 「男性育休の軌跡とこれから」小津智一氏(ファザーリング・ジャパン九州イクボスプロジェクトリーダー)
「男性育休を進めていく上でのポイント」木佐貫純司氏(社会保険労務士)
- グループワーク及び情報交換

Event Information



かけ合わせて、組み合わせて、サステナブルな世の中へ。

「Project Mariage」春のオフ会 ジブンらしく生き生き働くために

一人一人がジブンを大事にしながら、働くことに、前向きに、楽しく、イキイキと取り組む。そして、その先に、成長したジブン、新しい価値を見出したジブン、「ジブンが大好きなジブン」を創造してほしい。そんな思いでスタートしたProject Mariageの春のオフ会です。今回は、さまざまな展示や体験会、トークショーを繰り広げ、ジブン探しの途中のみなさまに、素敵なヒントをプレゼントできればと思います。

主な内容

「資産づくりをお手伝い by 福銀投信コンサルタント」「ヘッドマッサージでリラクゼーション」「毎日健康人生ウェルネス診断」「5世代女性 赤裸々トークショー」「牛乳パックdeおしゃれバッグ」そのほかスミージーやワインの販売も。

日時

2022年3月21日(月・祝)
11:00~16:00

会場

+TAP大名
福岡市中央区大名1-12-57 福商会館3F

一部内容をオンライン
配信もいたします。
イベントの詳細は
こちらから→
随時更新しています。



3月5日(土)~27日(日)に福岡市各地で開催される、ふくおか「対話と学び」学園祭登録イベントです。

会社概要

株式会社ジーエー・タップ

事業内容:企画・デザイン全般、一級建築士事務所
<https://ga-tap.co.jp/>



イベントについてのお問合せは

+TAP大名

福岡市中央区大名1-12-57 福商会館3F
TEL.080-3969-4463 <https://plus.tap.ga-tap.co.jp/>



GOLF MEGA STAR

vol.2

ゴルフ界で輝く新星を
紹介するコーナーです

アマチュアゴルファー

下園 航太

SHIMOZONO KOTA

Profile

2003年6月8日生まれ。B型。福岡県北九州市出身。福岡県立小倉高等学校3年生。身長168センチ。父親の影響で5歳頃からゴルフを始める。4月から同志社大学経済学部に進学し、ゴルフ部に所属予定。

学業とゴルフの両立 文武両道の高校生活

今年3月に小倉高校を卒業する下園航太さん。ゴルフ部のない名門進学校に通いながら、「2021年度（第26回）日本ジュニアゴルフ選手権競技男子15歳・17歳の部」4位T、「第8回カンサイ CUP ALL JAPAN」男子学生アマチュアゴルフトーナメント2021」1位など、ゴルフで輝かしい成績を収めた。

ゴルフとの出会いは5歳の頃。父親に連れられて練習場に行ったのがきっかけだ。小学生の頃から試合に出場し、プロゴルファーになるのが夢だったが、ゴルフ部のある高校ではなく、あえて進学校の小倉高校に進んだ。「ゴルフは常に選択を迫られ、良い方を選ばなくてはならないスポーツです。状況を把握して正確な判断をする為には、ゴルフ以外の豊富な知識も必要だと思いました」学業との両立は思った以上に大変だった。「定期考査と試合が重なっ



カンサイCUP上位入賞者(左から3人目が下園さん)

た時、試合に出られないものかしき
がありました。出る試合を絞りこん
でスケジュールを組み、試合に向けて
自分の課題を修正していきまし

コロナ禍であっても

日々の努力を怠らない

高校2年時には、新型コロナウイ
ルス感染症の影響で、学校が休校や
オンライン授業になり、文化祭、体
育大会など学校行事が軒なみ中止。
青春の1ページとなるはずの修学旅
行もなくなってしまう。「自粛期間
中は、家でゴルフの練習ができたの
で技術力が上がりました。自作のパ



カンサイCUPにて優勝カップを手に笑顔の下園さん

4月から大学進学 QT突破を目指す

ターマットで毎日パターを打っていま
した。パターは普通のショットと比べ
て、ゆっくり動かすので繊細な感覚
が求められます。毎日練習して身体
に覚えさせないと、一日でどうにか
なるものではないですからね」

ゴルフの魅力については「同じプ
レーはできないし、同じ状況という
こともない。一打一打が唯一無二。
考えれば考えるほど難しく、考えな
いとミスをしてしまう。ゴルフはメン

タルスポーツなので、心の持ち様を
大切にしています。例えば、ミスを
してミスとすると雰囲気も悪くな
るし、ライバル選手に隙を与えてし
まうことになる。だから、ミスをし
てもなるべく口角を上げるように意
識しています」と語る。

ゴルフに対して鋭い分析力を持つ
理論派の下園さん。4月から京都の
同志社大学経済学部に進学し、ゴル
フ部に入る予定だ。

「大学生の間に全国大会で優勝した
いです。それから、早いうちにQTを
突破してプロツアーに出たいです！」

下園航太さん Q & A

- Q.ドライバー平均飛距離は? 270ヤード
- Q.ベストスコアは? 67(ザ・クラシック)
- Q.得意なショットは? パター
- Q.長所、短所は? 長所はよく考えること、短所は人見知り
- Q.ストレス解消法は? 美味しいご飯を食べること
- Q.好きな食べ物は? ファストフード
- Q.好きな音楽は? サザンオールスターズ「希望の轍」

Q.好きな
言葉は?

自信 下園航太





「ふと、考えてみた。」

全世界にお魚、いわゆる魚類はどれくらいの種類がいるんだろうかと。

実は毎年数百種の新種が発表されてきており、新種は年々増えてきてますが、2022年現在、だいたい44,000種くらいいるのではないかと言われています。

ではわが国には、どれくらいの魚が生息しているのでしょうか。

およそ3,800種程度と言われています。実に全世界の魚種の8・6%が日本で見られることになります。これだけではピンとこないかもしれませんが、世界の主要な海域で見られる魚種は次のとおりです。

- ・インド太平洋（インド洋から西部太平洋までの海域）……約3,000種
- ・西部大西洋……約1,200種
- ・東部太平洋……約1,000種

- ・東部大西洋……約500種
 - ・地中海……約500種
 - ・北極、南極……それぞれ約250種
- ちなみに日本の国土は、地球全体の陸地の中の0・25%しかありません。これを見ると、日本という国がいかに地球上で古来から豊富な魚種に恵まれた国だったかがよくわかると思います。

これは「釣り」に関してもいえることで、住んでいると気付きにくいですが、世界中で我が国ほど釣りの対象魚が豊富な国もなかなか無い様です。

これはなぜか。地理的に日本という国土が、表は太平洋という大海に臨み、裏は日本海とオホーツク海、東シナ海を列島と挟んだ長大な海峡部になっています。

その中であって、九州は黒潮が分化した流れに親潮の分流、対馬海流が壱岐水道・対馬海峡の大陸棚上の大きな海峡部でぶつかり合う所に位置しています。

また上空にはジェット気流が流れ、表層は季節風でかき乱され、水中では大きな潮流がうねり、そんな海域では、常に魚のエサとなる莫大なプランクトンが生成されています。その水面下では海流に乗ってやって来る多くの魚種を集め養い育ててくれています。

国内にいる釣り人は、海外の大物や特定の場所にしかない有名で珍しい対象魚や大物を釣ることが夢であったり、羨ましいという想いが強いかもしれませんが、でも実は我々日本の釣りの環境のほ



うがずっとずっと恵まれているのかも。
海は広いですが、そのどこにでも魚がいるわけではありません。岸から釣りをしていると、沖合いに出ればたくさん魚が釣れそうな気がしますが、実は少し違うようです。

視野を拡げて見ると、実は魚はなにもない大洋のど真ん中よりも島や陸地の周辺を好みます。魚は単体で何かの物陰を好み寄り添う性質を持つものが多いばかりでなく、海域にある島、複雑な海岸線がある陸地や水中にある岩礁などの「変化」を好みます。その「変化」がたくさんあり多くのプランクトンを供給しているのが我が国、日本列島の地形なのです。大小の島の群島から成り、各所に海峡部があり、それに海流が当ること地球規模で魚が集まりやすい特異な環境になっています。

特に九州の西北部は、壱岐・対馬を始め

とする数多の島々とその周りの海峡部、リアス海岸と呼ばれる複雑な海岸線を擁し、それにも増して多様な魚種が生息しやすい環境が整っています。すぐ近くの海辺で魚と親しみやすいのです。これは「奇跡」なのかもしれません。子どもの頃から釣りに親しんできた私は実感しています。

それだけの環境を持つ我が国では魚を獲る漁具も独自に高度に発達してきました。とくに疑似餌を使う釣り、ルアーフィッシングにおいては、発祥はヨーロッパであり道具は北欧製が最上とされてきました。それが21世紀になり多様な魚種を狙う国内での釣りのジャンルが確立されそれぞれの道具も高度に進化してきました。

今や釣具は日本製が世界一です。そして釣りに関しては世界中で至宝ともいえる我が国のフィールド。そんな国で高い工業技術とこだわりの裏付けられた釣具はさらに磨かれ、いまや世界最高水準の道具となってきました。

FFGの営業基盤である九州の、とりわけ西北部は国内でも有数の釣り場に恵まれています。筆者は身近に広がるその豊かで美しいフィールドに、手軽に世界に誇れる素晴らしい釣具を持つて臨めることに、いつも喜びを感じています。

目の前に広がる九州の美しい海をご覧になると、その碧く深い水色の中には奇跡的に恵まれた豊かな世界が広がっていることを思い起こしていただけたら：と願っています。

九州の星
Star of Kyushu

| 73 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです

琵琶の製作と修復技術を
後世に伝え残すために活動する



琵琶製作・修復職人



▲琵琶製作・修復の工具が整然と並んだ工房教室「琵琶館」にて

ドリアーノ スリス

DORIANO SULIS

Age 74

琵琶製作・修復職人
イタリア会館 福岡館長

琵琶館 HP イタリア会館 福岡 HP



▲27歳の時、筑前琵琶職人・吉塚元三郎さんに弟子入り



▲弟子の権藤智海さんに琵琶製作を教えるドリアーノさん

琵琶の美しい音色に魅せられて

イタリア生まれのドリアーノ・スリスさんは、イタリアの言語や文化を教える「イタリア会館」の館長を務めながら、琵琶製作・修復の活動を続けている。

ドリアーノさんは、ローマで知り合って結婚した妻の里帰りで、1974年に日本にやって来た。「ある日、ラジオから流れてきた琵琶の音色に衝撃を受けました。今までに聞いたことのない、現代的な音色に聴こえたのです」

琵琶の音色が忘れられず、当時日本の唯一の筑前琵琶職人・吉塚元三郎さんの工房を訪ねた。福岡県の無形文化財であった吉塚さんは80歳くらいで、聞けば後継者はいないという。「自分が弟子に

なるので教えてください」思わず口をついて出た。吉塚さんはじつと顔を見て「明日から来なさい」とだけ言った。それから約5年、琵琶製作の修業に専念した。

師匠が他界してからも琵琶の文化を守る為、孤軍奮闘してきた。しかし2年前に脳出血を患い3カ月入院し、「技術をつなぐなければ」と覚悟を決めた。2021年10月、工房教室「琵琶館」を開講。2人が弟子入りし、琵琶について学びたいと教室に通う人もいる。

「一度きりの人生。やりたいことがあったら迷わずやったらいいですよ」

琵琶の音色に魅せられた人生。共鳴した人たちが集い、バトンをつないでいく。

長崎だより

長崎の情報を
お届けします

FFG調査月報の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、景色デザイン室 代表 古庄悠泰様に「デザインの視点が町に生かされる時～雲仙市小浜町での活動を中心に～」と題し、寄稿していただきました。

長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



お問い合わせ

株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号
十八親和銀行本店内
TEL095-828-8859



ながさき経済web画面

長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。



デザインの視点が町に生かされる時

～雲仙市小浜町での活動を中心に～

寄稿 古庄 悠泰



小浜温泉街

小浜移住のきっかけ

「どうして小浜に?」。私が福岡から雲仙市小浜町に移住したことを知った方は、まずその質問を私に投げかけます。その答えは「追いかけた先がたまたま小浜だったから」。

福岡で生まれ育ち、大学でプロダクトデザインの勉強をしていた私は、授業のゲスト講師として来られていた小浜出身・在住のデザイナー・城谷耕生さん(studio shirovani)の話に感銘を受けます。プロダクト(工業製品)＝大量生産・大量消費を前提とする世界の中でのデザインの仕事にどこか迷いがあった私にとっ

て、生活の根本から考え抜かれた城谷さんのデザインと活動の実践は本当に衝撃的でした。そして「今すぐこの人から学びたい」という一心でゼミの先生から城谷さんの連絡先を教えてもらい、バスに揺られて追いかけた先が小浜だったのです。

それからは、今まで行ったことも(もしかしたら聞いたことも)なかった小浜に通う日々が3年生の頃から始まり、大学を卒業してすぐに修行のつもりで城谷さんの事務所の門を叩きました。「新卒」で同級生のほとんどが大手メーカーなど少なくとも福岡以上の都心部に向かう中、福岡よりさらに田舎に就職



Profile



景色デザイン室

代表 ふる しゅう ゆう だい 古庄 悠泰

1989年 福岡県糸島市生まれ
2009年 九州大学芸術工学部
工業設計学科入学
2013年～ studio shirovani入社、
刈水庵店長兼任
2016年～ 景色デザイン室代表
2017年 景色喫茶室オープン



したのは当時クラスでたった一人、自分だけでした。

刈水庵の立ち上げ

城谷さんのもとで働き始めて最初に任された仕事は、studio shiotaniの新たな活動としてオープンしたショップ・カフェ「刈水庵」^{かりみずあん}の立ち上げです。このお店は小浜温泉街から歩いて10分程のところにある「刈水」という地区にあります。温泉街からほど近くながら車が入らない急な斜面沿いのこの地区は、空き家だけでも約40%（当時）のいわゆる「限界集落」。こんな場所にショップカフェをオープンさせるのは無謀に思われるかもしれませんが、もちろん思いつきで始めたわけではありません。オープンから遡ること約1年、studio shiotaniと長崎大学が共同であるワークショップを企画しました。それは「過疎地域を様々な面から調査し、デザインの力で地域を活性

化するアイデアを提案する」というもので、その地区として選定されたのが刈水地区だったのです。このワークショップには九州大学、佐賀大学、長崎大学などから建築デザインや地域経済を学ぶ学生が集められ、実は当時大学4年生の私もこのワークショップに参加していました。ワークショップ期間中、学生たちは小浜に合宿し、昼は地区調査、夜はそれを踏まえたアイデア考案という濃密な約1週間。その成果物として「1.北刈水地区調査」「2.北刈水エコヴィレッジ構想」という2つの冊子を制作し、地域住民の皆さんや長崎大学の教授の皆さんの前で発表しました。当時このワークショップはこの「発表」がゴールの予定でしたが、発表を聞いた地域住民の方々に「この提案を実現しよう！」とまさかの後押しをいただき、それからすぐ刈水地区内の立派な空き家を借りることができました。この空き家が、後の刈水庵です。

オープンしてからは私はスタジオ

アシスタント兼刈水庵の店長として、ショップとキッチンとデスクを行き来するという「新米デザイナー」としてはややユニークな日々の中で、様々な出会いと経験を得ていくことになります。「車の入らない急斜面沿い」という立地を生かし、窓を開け放つても雑音が全く聞こえず気持ちのいい風が通るカフェ、そして「こんな所にこんな物が」と誰もが驚く世界中のデザイン雑貨（しかもかなりマニアック）が集まったカフェ兼ショップがオープン間も無く反響を呼び、これまで地域住民以外は新聞配達員さんと郵便局員さんくらいしか入ることのなかった刈水地区に、県内外からお客様が来られるようになりました。もちろんそれも嬉しかったのですが、「最近はどう人の通るけん、綺麗にしとかんばね」と刈水庵のすぐ近くに一人暮らしをしているおばあちゃんが軒先にプランターの花を植えていた時は、本当に頭の下がる思いでした。地域の方々に支えられてこそ、地域のお店です。



ショップ・喫茶「刈水庵」。築80年以上の古民家を改装





刈水デザインワークショップの様子と成果物の冊子

刈水デザインマーケット

そんな中、日々の営業からもう一歩ひらいた企画として「刈水デザインマーケット」というマルシェイベントを始めました。マルシェイベントでは広い土地に各出店ブースが立ち並びスタイルをよく見られると思いますが、刈水デザインマーケットでは空き地や空き家の軒先、また現在お住まいのお家の庭などを大家さんのご協力のもとお借りし、斜面沿いに県内外のシェフや作家が軒を連ねるといふ独特のスタイルが特徴です。

最初はスタッフの古着や刈水の住人のおじちゃん特製の「つるカゴ」などまさに手作りで小さく始めたイベントでしたが、約5年間で徐々に県内外の出店者も増え、最終回となる第15回では出店店舗約30、来場者数もこの狭い刈水地区に約1,000名がひしめき合う程にまで成長しました(15回目を最終回とし、このイベントは後述の「小浜



デザインマーケット」に引き継がれることになります」。出店内容のクリエイティブの管理、主催者と出店者の美意識の共有、広報物（チラシ、ポスター、写真、SNSなど）の作り込みなど、デザインの職能はデザインの仕事以外でも（あるいは以外でこそ）活かすことができます。また、それはお客様側から見ると「行ってみたい」「行って良かった」に繋げることができ、その身をもって感じたイベントでした。

地方にこそデザインの仕事はある

studio shirohani・刈水庵での勤務に伴い、必然的に私も小浜に住んでいましたが、冒頭でも少し触れたように最初は「修行のつもりで」小浜に越して来ていました。デザインの経験をしっかりと積んで、（今考えると何となくと言えませんが）地元の福岡で独立するつもりだったのです。しかし住んでいくうちにその



刈水デザインマーケットの様子。急な斜面沿いに所狭しと出店が並ぶ

気持ちは動いていきます。小浜の海、温泉、美味しい食べ物、そして何よりオープンマインドで明るくやわらかい小浜の方々の人柄に日々を重ねるほどに惹かれていき、またスタジオ時代で仕事の関係も小浜や島原半島内に広げることができたこともあり、「仕事の繋がりが無い福岡に無理に戻るよりも、小浜で独立する方がとても自然な気がするな」と思うようになりました。

そして2016年夏に「景色デザイン室」として独立開業。現在では小浜温泉街の徒歩20分圏内に約15社のクライアントから、継続的にデザインの仕事をさせて頂いています。年々小浜の地域と深く関わっていく中でよく耳にしたのが「今まで仕方なく手作りでやってたけど、（デザインを）頼めるなら頼みたい」という声です。特に個人店の方などは、名刺1枚から商品パッケージ、ウェブサイトに至るまで「デザインを発注する」ということをしたことがなく、「デザインにかかる費用もスケ



小浜温泉旅館「伊勢屋」のブランディングの仕事。ロゴマークから外装サイン、ツール類までデザイン。

ジュール感も分からない、デザイン業者との繋がりもない」という方がまだまだ多いということが分かりました。それが分かってからは、デザインの仕事のプロセスはどういったもので、どういうやり取り（打ち合わせ）が今後あるのか、どの作業にどのくらい費用がかかるのかなど、できるだけ細かく分かりやすくご説明してから仕事をさせていたくださうになりました。色々な面でご理解いただくのに時間がかかることもありましたが、その分「地方にこそデザインが求められている」デザインの仕事がある」と感じています。

自分が欲しかった お店をつくる

独立してちょうど1年がたった頃でしょうか、小浜の行きつけの定食屋さんで食事をしていたときのこと。移住して以来いつもお世話になっていたこの店のお母さんが「隣のあの建物が空くみたいよ。古庄

くん、前この辺で物件探してなかった？」と声をかけてくれました。その建物はバスターミナルの真隣、元々「雲仙小浜商業協同組合」が入っていた3階建てのペンシルビル。組合の解散に伴い、解体に向けてスケジュールを組んでいるというのです。当時山手の小さな一軒家を自宅兼事務所として細々と仕事をしていた僕は、「壊すなんてもったいないですね、僕だったらこういう風に使うの」と軽い気持ちで話したのをお母さんが組合に伝えてくれ、とんとん拍子にこの物件をお借りできることに。

その時お母さんに話した「こんな風に」というのは、全面ガラス張りになっている1・2階のつくり（当時全てブラインドで締め切られていた）を活かし、2階をデザイン事務所にし、1階を地域にひらけた小さなコーヒースタンドにするというものでした。その理由は2つあります。1つ目は、もしここを自分の事務所にするとしたら、せつかくの立地なのに打

ち合わせで来たクライアントしかこの場所の扉を開けられないのはもったいないということ。2つ目は、「自分がこんな店が欲しいと思っていたから」です。当時車を持っておらず長崎市などへの打ち合わせはバスで行っていた私は、バスに乗る前においしいコーヒーを飲みたいが飲食店に入る時間は無い、でも自販機のコーヒーで済ませたくもない、いつも思っていました。そんな時に、気軽に入れて美味しいコーヒーをテイクアウトできる店がバスターミナルの近くにあったら・・・それを誰も作らないなら自分でやってみよう、そう思ったのです。そんないわば「思いつき」で、改装後すぐに「景色喫茶室」をオープン。いざオープンしてみると近所のおばさまからバスターミナルに降り立った外国人観光客まで、様々な方々に立ち寄っていただけのようになりました。「この町には何もない」と嘆くのではなく「こんなモノゴトがあったらいいな」と想像してみることから全ては始まるのだと思います。



イベントを通して その町自体が好きになる

さて先述した「刈水デザインマーケット」は回数を重ねることに規模や来場者数が大きくなり、小さな刈水地区では若干手狭になってきていた一方で、私がオープンした景色喫茶室以外にも県内外から小浜に移住し温泉街に店を開く方々が



元・雲仙小浜商業協同組合の事務所だった物件を改装。
1階は週末オープンのコーヒースタンド「景色喫茶室」、2階がデザイン事務所「景色デザイン室」。

徐々に増えつつありました。そこで、刈水庵や景色喫茶室を含めた5店舗の共同主催で、刈水デザインマーケットのフィールドを小浜温泉街に拡大した町歩きマルシェイベント「小浜デザインマーケット」を企画しました。

このマーケットの特徴は、一つの広い会場に出店者が集まるのではなく、主催の各店舗にそれぞれがオ

ファーした出店者が出店するという点です。マーケットに遊びにきたお客さんは、各店舗でのマルシェを楽しむために必然的に温泉街を歩くこととなります。これまで、ほっとふっと105（小浜で有名な「日本一長い足湯」）から飲食店へ、そこから旅館へとすべて「点」を車で繋いで移動していた方にとっては、イベントをきっかけに小浜をじっくり歩いてみるこ

今後の展開

とで点から線へ、そして面的に小浜温泉街の魅力を発見することに繋がりが、温泉街自体も好きになってくれたらと願っています。「小浜デザインマーケット」は過去3回企画（3回目は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。今後も定期的に続けていくことで、現在の5店舗だけでなく小浜全体を巻き込みながら成長させていけたらと考えています。

これまで小浜温泉街では様々な組合や団体、個人がそれぞれ独自の活動を行ってきました。個々の活動や思想が素晴らしいものだとし、ても、小浜全体で見たときに今後どういう町にしていきたいか、どんな未来を作っていきたいかという思いをなかなか共有できません。そこで、これからの小浜温泉の未来について「みんなで」考え、取り組んでいくまちづくり団体として、旅館関係者や地元商店、デザイナー、エネル



小浜デザインマーケットの様子。温泉街の名店舗を回りながらこだわりの食と物を楽しむ

ギー経済研究者などのメンバーからなる一般社団法人「OBAMA ST・2030（小浜ストリート2030／以下OST2030）」を立ち上げました。

OST2030として最初に取り組んだことは、小浜の人々が「小浜の未来」についてどう考えているのかを聞いて回り、可視化し、それらを実現可能なプランにまとめ上げ

ることです。具体的には、できるだけ本音に近い意見が出やすい顔なじみの小人数27グループ・総勢118人から集めた声と、そこから出てきた課題や要望をOST2030でまとめた12のプランを、「おばまのみらいのはじまり展」として商店街に展示して地域住民の皆さんに見てもらいました。そして現在、一つずつそれらを実行に移しており、プラン

1として掲げていた「小浜歴史資料館」の再整備を進めています。

街の明るい未来は、ある日突然誰かが作ってくれるものではなく、いまここで暮らしている私たち自身が作るものです。今後もデザイナーとして、まちづくり団体として、そしてこの街に暮らす一人の住民として、小浜温泉街の未来をかたちにしていけたらと考えています。



OBAMA ST・2030で開催した「おばまのみらいのはじまり展」



十八親和アートギャラリーでは、2月26日より春季小企画「陶板画展～暮らしの彩り」を開催いたします。

陶板に絵付けや印刷を施した陶板画は、長い年月を経ても美しい意匠と色彩が保たれる特徴があり、贈答や記念の品として親しまれるなど身近な美術品のひとつと言えます。本展では、十三代 酒井田柿右衛門の作品をはじめとする有田焼のほか、九谷焼、洋画家が作画したもの、企業の記念品として制作されたものなど9点をご紹介します。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

十三代 酒井田柿右衛門（さかいだ・かきえもん）：1906～1982。十二代 酒井田柿右衛門の長男として生まれる。有田工業学校製陶科卒業。18世紀後半に途絶えた「濁手（にごしで）」と呼ばれる製法を父とともに復元する。1963年父親の死去に伴い十三代を襲名。1971年柿右衛門製陶技術保存会を設立して会長に就任。同年、重要無形文化財「柿右衛門（濁手）」総合指定される。*

※1976年の法改正により柿右衛門製陶技術保存会が保持団体として認定され現在に至る。

【春季小企画】

陶板画展

暮らしの 彩り

Kurashino
Irodori

2022 2.26[土] ▶ 3.26[土]

十八親和アートギャラリー

【開館時間】10:00～16:00（入館は15:30まで）
【休館日】日・月・祝日、年末年始（12/31～1/3）

※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24
十八親和銀行島瀬ビル1F
TEL.0956-23-4856
西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分
JR佐世保駅から徒歩約20分

鑑賞
無料



十三代 酒井田柿右衛門「錦梅花文陶額」

